

0850迄 (1117件)

- 801年-04:00|オマーン| |||<即位>オマーン(元首)イマム:アル=ワリス・ビン・カーブ
- 801年-01:00|アントラ/スペイン| |||<就任>ハルルウ伯「ベラ1世」トゥールズ伯ギヨムの子/ジローナ伯、バザル伯、ウーナ伯、ラゼー
スとコンラン伯 (~820年)
- 801年-01:00|イタリヤ| |||<即位>ナリ公「アンティマス」 (~818年)
- 801年1月18日-08:00|中国| ||唐・貞元17年|磨些蛮千余戸が韋皋に降伏
- 801年3月30日-08:00|中国| ||唐・貞元17年2月13日|韋?が吐蕃と鹿危山で戦い、これを破った
- 801年3月31日-09:00|日本| ||延暦20年2月14日|坂上田村麻呂が蝦夷征討を開始
- 801年6月15日-08:00|中国| ||唐・貞元17年5月1日|朔、日食があった
- 801年7月19日-08:00|中国| ||唐・貞元17年6月5日|寧州軍が乱を起こし、その刺史の劉南金を殺した
- 801年7月25日-09:00|日本| ||延暦20年6月12日|隼人番上の制を廃止
- 801年8月30日-08:00|中国| ||唐・貞元17年7月18日|吐蕃が塩州を寇した
- 801年9月10日-08:00|中国| ||唐・貞元17年7月29日|吐蕃が麟州を陥落させ、刺史の郭鋒がここに死んだ
- 801年10月26日-08:00|中国| ||唐・貞元17年9月16日|韋?が吐蕃を雅州で破り、木波城を落とした
- 801年11月10日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・哀莊王3年8月|新羅が耽羅国(済州島)からの朝貢を受けた
- 801年12月7日-09:00|日本| ||延暦20年10月28日|坂上田村麻呂が征夷大將軍を返位
- 801年12月28日-01:00|フランス/スペイン| |||カル大帝がイスラム軍を破ってハルルウを征服
- 802年-07:00|カホソア| |||<即位>ケメル王朝国王「ジヤウアルマン2世(フェイアルマン2世)」真臘を統一 (~850年死去)
- 802年-01:00|クワチア| |||<死去>クワチア公「ウイシスラフ」
- 802年-01:00|クワチア| |||<就任>クワチア公「ホルナ」 (~821年、死去)
- 802年-01:00|ドイツ| |||ウエホルムス帝国議会でザクセン法が公布
- 802年-01:00|ナジエリヤ| |||ナジエリヤ南東部で鉄の加工が開始される
- 802年 00:00|イギリス| |||<死去>ウエセックス王「ハルトリッチ」
- 802年 00:00|イギリス| |||<即位>ウエセックス王「イクハート・Ealhmundes sunu」 (~8390204死去)
- 802年 00:00|イギリス| |||ウエセックスはマシアから独立
- 802年2月6日-08:00|中国| ||唐・貞元18年|<復位>吐蕃ツェンポ「テテ・ソツェン(赤徳松贊)」 (~815年死去)
- 802年2月14日-09:00|日本| 岩手県奥州市|延暦21年1月9日|坂上田村麻呂が胆沢城を築き、鎮守府を移管
- 802年5月19日-09:00|日本| ||延暦21年4月15日|胆沢の夷首大墓公阿豆流為ら配下500人余りを率いて降伏
- 802年6月22日-09:00|日本| ||延暦21年5月19日|富士山噴火で陥没した足利路のかわりに箱根路が開通
- 802年7月15日-09:00|日本| 京都府京都市|延暦21年6月12日|京都左京大火/左京百姓宅42烟焼失
- 802年9月1日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・哀莊王3年8月|新羅、海印寺を創建
- 802年9月13日-09:00|日本| 大阪府枚方市|延暦21年8月13日|阿豆流為と副首領の母礼が河内の杜山で斬刑に処せ
られる
- 802年10月31日-02:00|トルコ| |||<即位>東ローマ帝国(イサリア朝) 皇帝「ニクフォロス1世」 (~8110726死去)
- 802年10月31日-02:00|トルコ| |||<廃位>東ローマ帝国(イサリア朝) 皇帝「イレネー・アテナイ」 税務長官ニクフォロス1世のクーデターに
より
- 802年12月29日-08:00|中国| ||唐・貞元18年12月|環王が驩・愛の二州を陥した
- 803年-07:00|ベトナム| |||<即位>チャンパ王「ハリガアルマン1世」 (~817年)
- 803年-07:00|タイ| |||ナム川下流のモン族のドウアラバティ王国が滅亡
- 803年-02:00|エジプト| |||<就任>アッバース朝エジプト第39代アミール:アファド・ベン・イスマイル・ベン・アリ・ベン・アブダラ アルバシ (~
805解任)
- 803年-02:00|ルマニア/ブルガリア| |||モルダヴィアはブルガリアの一部 (~900年以降)
- 803年-01:00|アントラ/フランス| |||アントラはフランク王国の一部
- 803年 00:00|モロッコ| |||<即位>ネール王国スルタン「Salih2世」 (~864年)
- 803年1月-03:00|イラク| |||アッバース朝の第5代カリフのハルーンがバクマク家を弾圧
- 803年3月14日-08:00|中国| ||唐・貞元19年2月18日|安南の将の王季元がその経略使の裴泰を追放したので、兵
馬使の趙均がこれを破った
- 803年4月1日-09:00|日本| 岩手県盛岡市|延暦22年3月6日|坂上田村麻呂に斯波城を築城させる
- 803年5月31日-09:00|日本| ||延暦22年5月8日|足柄路を復旧し筥荷路を廃す
- 803年7月22日-09:00|日本/韓国| ||新羅・哀莊王4年;延暦22年7月|日本と国交を開き通好
- 803年8月9日-02:00|トルコ| |||<死去>前東ローマ帝国(イサリア朝) 皇帝イレネー「アテナイ」イサリア朝の血統断絶
- 803年11月20日-08:00|中国| ||唐・貞元19年閏10月3日|塩州の将の李庭俊がそむき、処刑された
- 804年-01:00|イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィア共和国第9代ドージェ(元首)「オベリオ・アンテルオ」 (~810年)
- 804年-01:00|デンマーク| |||<即位>デンマーク王「グトフレッド」 (~810年夏死去)
- 804年-01:00|フランス/ドイツ| |||カル大帝がザクセンへ最後の遠征、ザクセンがフランクに完全服属
- 804年2月15日-09:00|日本| 長崎県壱岐市|延暦23年|壱岐島に配した大宰府管内6国の防人20人を廃止
- 804年2月15日-08:00|中国| ||唐・貞元20年|<死去>吐蕃ツェンポ「ムク・ツェンポ(牟如贊普)」
- 804年3月13日-09:00|日本| ||延暦23年1月28日|坂上田村麻呂が征夷大將軍に再任
- 804年5月11日-09:00|日本| ||延暦23年3月28日|最澄と空海が遣唐使として入唐
- 804年8月14日-09:00|日本/中国| ||延暦23年7月6日|第16次遣唐使派遣/藤原葛野麿、石川道益/往路、第三、四船
遭難
- 804年9月17日-09:00|日本| 京都府京都市|延暦23年8月10日|暴風雨により神泉苑左右閣、京中民家多く倒れる
- 804年10月24日-09:00|日本/韓国| ||延暦23年9月18日|桓武天皇が、兵部少丞・正六位上の大伴の宿禰岑万里を、

新羅国に派遣

- 804年12月6日-09:00|日本|秋田県|延暦23年11月|秋田城のもとに秋田郡が置かれ、城司が民衆を直接支配する城制から、郡司を介して支配する郡制に移行
- 804年12月14日-01:00|フランス|||ギヨームとその家族によって、サン＝ギルム＝ド＝ゼール修道院が設立
- 805年-05:30|インド|||<即位>プラーティハール朝国王「ナガパ2世」(~833年)
- 805年-03:30|イラン|||<即位>ジャスタニス朝国王「Marzuban of Daylam」(~855年)
- 805年-02:00|エジプト|||<就任>アッバース朝エジプト第40代アミール:アブダラ・イブン・ムハンマド・アルハシ(~806解任)
- 805年-01:00|クロアチア/フランス/スロベニア|||カル大帝がスラブ人に対する東方辺境地帯(リムスルビクス)を設置
- 805年 00:00|イギリス|||<死去>ダリア王「Selbach mac Eoghain」
- 805年 00:00|イギリス|||<即位>ダリア王「Conall mac Taidhc」(~807年死去)
- 805年2月3日-09:00|日本||延暦24年|この年最澄天台宗を開く
- 805年2月3日-08:00|中国||唐・貞元21年|<死去>回鶻可汗国第7代可汗「懐信可汗(骨咄祿)テングリテ・ウルク・ホルミシュ・アルブ・クトルク・キュルク・ヒルク・カゴン」
- 805年2月3日-08:00|中国||唐・貞元21年|<即位>回鶻可汗国第8代可汗「滕里野合俱録毘伽可汗(不明)テングリテ・アルブ・キュルク・ヒルク・カゴン」(~元和3年(808年)5月)
- 805年2月3日-09:00|日本||延暦24年1月|未刻、大星隕
- 805年2月16日-09:00|日本|兵庫県淡路市|延暦24年1月14日|桓武天皇が淡路国に勅使を派遣して崇道天皇(早良親王)の為に七堂伽藍(常隆寺)を建立
- 805年2月25日-08:00|中国||唐・貞元21年1月23日|<死去>唐第12代皇帝「徳宗李ヨ」会寧殿で崩御(64)
- 805年2月28日-08:00|中国||唐・貞元21年1月26日|<即位>唐第13代皇帝「順宗李誦」(~8月31日)
- 805年7月30日-09:00|日本||延暦24年7月1日|遣唐大使藤原葛野麻呂帰国
- 805年8月12日-09:00|日本||延暦24年7月14日|最澄が唐から帰国
- 805年8月28日-09:00|韓国/朝鮮||新羅・哀莊王6年8月|律令の施行細則である公式二十余条を頒布
- 805年8月31日-08:00|中国||唐・永貞1年8月4日|<退位>唐第13代皇帝「順宗李誦」
- 805年9月1日-08:00|中国||唐・永貞1年8月5日|唐、永貞(-12月)と改元
- 805年9月5日-08:00|中国||唐・永貞1年8月9日|<即位>唐第14代皇帝「憲宗李純」(~元和15年1月27日(820年2月14日)死去)
- 805年11月13日-09:00|日本|京都府京都市東山区|延暦24年10月19日|坂上田村麻呂が桓武天皇の御願寺として朝廷から寺領を賜り、京都清水寺の本格的な伽藍造営を始める
- 805年11月28日-08:00|中国||唐・永貞1年11月4日|夏綏銀節度留後の楊惠琳がそむいた
- 805年12月6日-09:00|日本||延暦24年11月12日|<死去>吉志濃王(73/天智天皇の孫である湯原王の第二子)
- 806年-05:30|インド|||<即位>ハール朝国王「デーヴアハール」(~845年)
- 806年-05:00|ウズベキスタン/イラク|||サマルカンドでラーフィーがアッバース朝に対して反乱
- 806年-03:00|イラク/トルコ|||アッバース朝がヒザンティンに遠征、ヘラクリアとティアナを占領
- 806年-02:00|エジプト|||<就任>アッバース朝エジプト第41代アミール:アルセイフ・イブン・ジャミル(~808解任)
- 806年-01:00|フランス|||<就任>トゥールーズ伯「ベゴン」パトリ伯、アウストラシア宮宰カールマンの外孫(~816/1028死去)
- 806年-01:00|イタリヤ|||<即位>ベネヴェント大公「グリアルト」4世(~817年)
- 806年-01:00|デンマーク/ノルウェー|||ノルマン人がノアと呼ぶ海賊船の建造に成功し、活動を活発化
- 806年 00:00|イギリス|||<即位>ノーザンブリア王「Alfwald2世」(~808年死去)
- 806年 00:00|イギリス|||<廃位>ノーザンブリア王「Eardwulf Eardwulfes sunu」
- 806年1月24日-09:00|日本|東京都目黒区|延暦25年|大鳥神社創建
- 806年1月24日-09:00|日本|広島県尾道市|延暦25年|弘法大師空海、千光寺創建<真言宗系単立>
- 806年1月24日-09:00|日本|福岡県福岡市|延暦25年|弘法大師空海、唐より帰朝し、博多に東長寺を開く
- 806年1月24日-08:00|中国||唐・元和1年|白居易(白樂天)が「長恨歌」を作る
- 806年1月25日-08:00|中国||唐・元和1年1月2日|唐・憲宗が元和(-820年12月)と改元
- 806年2月11日-08:00|中国||唐・元和1年1月19日|<死去>唐太上皇(第13代皇帝)「順宗李誦」群威寧殿で崩じた(46)
- 806年2月11日-08:00|中国||唐・元和1年1月19日|劉闢が梓州を陥落させ、李康を捕らえた
- 806年2月18日-09:00|日本||延暦25年1月26日|最澄がもたらした天台宗が公認される
- 806年3月24日-09:00|日本/韓国||延暦25年3月|日本が、新羅に使者を派遣
- 806年4月4日-08:00|中国||唐・元和1年3月12日|高崇文が梓州を落とした
- 806年4月9日-09:00|日本||延暦25年3月17日|<死去>第50代桓武天皇/70歳(誕生:天平9(737))
- 806年4月9日-09:00|日本||延暦25年3月17日|<踐祚>安殿親王/5月18日51代平城天皇として即位
- 806年5月15日-09:00|日本||延暦25年4月24日|<死去>右大臣神王(70/二品・志貴皇子の孫、榎井王の子)
- 806年6月4日-09:00|日本||延暦25年5月14日|六道観察使を置く
- 806年6月15日-09:00|日本||大同1年5月18日|延暦から大同に改元
- 806年6月24日-08:00|中国||唐・元和1年6月5日|高崇文が劉闢と鹿頭柵で戦い、これを破った
- 806年6月30日-08:00|中国||唐・元和1年6月11日|嚴礪がまた石碑谷で劉闢を破った
- 806年8月3日-09:00|日本||大同1年閏6月16日|勘解由使廃止
- 806年9月8日-08:00|中国||唐・元和1年7月22日|高崇文が劉闢と玄武で戦い、これを破った
- 806年10月7日-09:00|日本||大同1年8月22日|空海が唐から帰国し、唐より持ち帰った文物を朝廷に提出して真言宗を伝える

0850迄 (1117件)

- 806年10月23日-09:00|日本|熊本県人吉市|大同1年9月9日|阿蘇神社神主・尾方権之助大神惟基が神託により阿蘇神社の祭神12柱のうち3柱の分霊を青井郷に祀り青井阿蘇神社創建
- 806年10月31日-08:00|中国| ||唐・元和1年9月16日|巖礪が劉闢と神泉で戦い、これを破った
- 806年11月5日-08:00|中国| ||唐・元和1年9月21日|高崇文が成都で勝利
- 807年-05:30|スリランカ| ||<死去>アヌラダプーラ王国国王「Mahinda2世(Silamegha)」
- 807年-05:30|スリランカ| ||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Dappula2世」Mahinda2世の息子(~812年死去)
- 807年-04:00|オマーン| ||<即位>オマーン(元首)イマム:ガッサン・ヒン・アブ・ダラー
- 807年 00:00|イギリス| ||<死去>ケト王「Cuthraed Cuthberhtes sunu」
- 807年 00:00|イギリス| ||<死去>ダールリア王「Conall mac Taidhc」
- 807年 00:00|イギリス| ||<即位>ケト王「Coenwulf」マニア王・東アングリア王(~821年死去)
- 807年 00:00|イギリス| ||<即位>ダールリア王「Conall mac Aedain」(~811年死去)
- 807年2月12日-09:00|日本|茨城県神栖市|大同2年|息栖神社創建<岐神・天鳥船神・住吉三神を祀る>
- 807年2月12日-09:00|日本|香川県善通寺市|大同2年|善通寺創建
- 807年2月12日-09:00|日本|静岡県伊豆市|大同2年|弘法大師、修禅寺創建<真言宗→曹洞宗>
- 807年2月12日-09:00|日本|静岡県伊豆市|大同2年|弘法大師が独鈷の湯発見【伊豆最古の温泉】
- 807年2月12日-09:00|日本|兵庫県朝来市|大同2年|生野銀山開坑
- 807年3月25日-09:00|日本| ||大同2年2月13日|<完成>「古語拾遺」官人・齋部広成が編纂した平安時代の神道資料
- 807年3月27日-08:00|中国| ||唐・元和2年2月15日|邕管経略使の路恕が黄洞蛮を破り、その首領の黄承慶を捕らえた
- 807年5月26日-09:00|日本| ||大同2年4月16日|参議廃止/観察使を設置
- 807年6月1日-09:00|日本| ||大同2年4月22日|近衛府を左近衛府に、中衛府を右近衛府に改める
- 807年6月25日-09:00|日本| ||大同2年5月16日|諸国の采女の献上を廃止
- 807年9月20日-09:00|日本| ||大同2年8月15日|十五条憲法を下す
- 807年11月4日-08:00|中国| ||唐・元和2年10月|鎮海軍節度使の李錡がそむき、留後の王澹を殺した
- 807年11月18日-09:00|日本| ||大同2年10月16日|内堅省をやめて大舍人寮に属させる
- 807年11月21日-09:00|日本| ||大同2年10月19日|国司交替の年限を6年に改める
- 807年11月22日-08:00|中国| ||唐・元和2年10月19日|鎮海軍兵馬使の張子良が李錡を捕らえた
- 807年11月30日-09:00|日本| ||大同2年10月28日|藤原宗成が伊予親王に謀反を勧めたことが発覚(伊予親王は桓武天皇の皇子で平城天皇の弟)
- 807年12月1日-09:00|日本| ||大同2年10月29日|謀反に関わりありとして伊予親王逮捕
- 807年12月14日-09:00|日本|奈良県高市郡明日香村|大同2年11月12日|伊予親王と母・藤原吉子、大和国川原寺で自害
- 807年12月15日-09:00|日本| ||大同2年11月13日|藤原宗成ら、流罪
- 808年-05:30|インド| ||<即位>東チャールヤ朝君主「Vijayaditya2世」(~847年)
- 808年-02:00|エジプト| ||<就任>アハハース朝エジプト第42代アミール:マリク・イブン・ダールハム・アルカルビ(~808)
- 808年-01:00|イタリヤ| ||<即位>フウケリ公「アイト」(~817年)
- 808年 00:00|イギリス| ||<死去>ダートマウ王「Iain ab Maol Iud」
- 808年 00:00|イギリス| ||<死去>ノーザンブリア王「Alfwald2世」
- 808年 00:00|イギリス| ||<死去>ホイス王「Cadell ap Brochfael」
- 808年 00:00|イギリス| ||<即位>ダートマウ王「Triffyn ap Rhein」(~810年)
- 808年 00:00|イギリス| ||<即位>ダートマウ王「Owain ap Maredudd」(~811年死去)
- 808年 00:00|イギリス| ||<即位>ノーザンブリア王「Eardwulf Eardwulfes sunu」(2期目~814年死去)
- 808年 00:00|イギリス| ||<即位>ホイス王「Singen ab Karl」(~855年死去)
- 808年 00:00|ポルトガル| ||イスラム教徒のポルトガル支配(868年からは南部のみ~1189年)
- 808年1月31日-09:00|日本| ||大同3年|日本で疫病が大流行し人口が半減状態となる
- 808年1月31日-09:00|日本|東京都目黒区|大同3年|慈覚大師円仁、目黒不動尊(瀧泉寺)創建<天台法華円宗>
- 808年1月31日-09:00|日本|山梨県甲府市|大同3年|弘法大師、塩澤寺開山
- 808年1月31日-08:00|中国| ||南詔・元封15年|<死去>南詔王「異牟尋」
- 808年1月31日-08:00|中国| ||南詔・元封15年|<即位>南詔王「尋閣勸」(~809年)
- 808年3月1日-09:00|日本/韓国| ||大同3年2月|日本が、新羅に使者を派遣
- 808年3月4日-09:00|日本| ||大同3年2月4日|紀伝博士設置
- 808年5月29日-08:00|中国| ||唐・元和3年5月|<死去>回鶻可汗国第8代可汗「滕里野合俱録毘伽可汗(不明)テングリテ・アルフ・キュルク・ヒルク・カガン」
- 808年5月29日-08:00|中国| ||唐・元和3年5月|<即位>回鶻可汗国第9代可汗「保義可汗(不明)アイ・テングリテ・クト・ホルミシュ・アルフ・ヒルク・カガン」(~長慶元年(821年)2月)
- 808年6月11日-09:00|日本|福岡県|大同3年5月14日|筑前の国司を置く
- 808年6月27日-09:00|日本|千葉県千葉市稲毛区|大同3年5月30日|稲毛浅間神社創建
- 808年6月28日-09:00|日本| ||大同3年6月|<任命>鎮守府将軍「百済王教俊」(~不詳)
- 808年7月27日-08:00|中国| ||唐・元和3年7月1日|朔、日食があった
- 808年8月17日-09:00|日本| ||大同3年7月22日|左右衛門府を廃止/左右衛士府に合併
- 808年8月25日-09:00|日本| ||大同3年8月1日|太政官に少納言を置く

0850迄 (1117件)

808年10月30日-09:00|日本|京都府京都市|大同3年|左衛士坊の失火、民家180戸焼失
808年12月25日-09:00|日本| ||大同3年12月5日|隼人司を兵部省に属させる
809年-03:30|イラン| ||<死去>カリフ・アント・王朝君主「Vindadhhurmuzd」
809年-02:00|エジプト| ||<就任>アッバース朝エジプト第43代アミール:アルハッサン・イブン・アルタタ (~809解任)
809年-01:00|スペイン| ||<就任>アラゴン伯「アスナル・ガリント」1世「イベリア半島のサラゴサで創始 (~820年)
809年1月20日-09:00|日本| ||大同4年|この頃「万葉集」完成
809年1月20日-09:00|日本|神奈川県横浜市南区|大同4年|弘法大師、弘明寺創建<高野山真言宗>
809年1月20日-08:00|中国| ||南詔・応道1年|<死去>南詔王「尋閣勸」
809年1月20日-08:00|中国| ||渤海・正暦15年|<死去>渤海国王「康王大嵩リ」
809年1月20日-08:00|中国| ||南詔・応道1年|<即位>南詔王「勸竜晟」 (~816年)
809年1月20日-08:00|中国| ||渤海・正暦15年|<即位>渤海国王「定王大元瑜」 (~永徳3年 (812年) 死去)
809年1月20日-08:00|中国| ||南詔・応道1年|南詔の尋閣勸が応道と改元
809年2月4日-09:00|日本| ||大同4年1月16日|<任命>鎮守府将軍「佐伯耳麻呂」 (~不詳)
809年3月24日-03:00|イラク| ||旧暦2月5日|<死去>バグダード・アッバース朝第5代カリフ「ハールーン・アッラシード」サマルカントの反乱の鎮圧に向かう途中、トウスで/43歳 (誕生763年)
809年3月24日-03:00|イラク| ||旧暦2月5日|<即位>バグダード・アッバース朝第6代カリフ「アミン」 (~8130927殺害される)
809年5月8日-09:00|日本| ||大同4年3月21日|雅楽寮雅楽師を定める
809年5月18日-09:00|日本| ||大同4年4月1日|<退位>第51代「平城天皇」、神野親王踐祚
809年5月30日-09:00|日本| ||大同4年4月13日|<即位>第52代「嵯峨天皇」神野親王 (~08230416)
809年6月23日-09:00|日本| ||大同4年5月7日|<死去>桓武天皇皇女高志内親王 (21/平城・嵯峨天皇同母妹、大伴親王妃)
809年7月14日-09:00|日本| ||大同4年5月28日|<死去>大伴弟麻呂 (生年731年/公卿、武将、初代征夷大將軍)
809年9月2日-09:00|韓国| ||新羅・憲徳王1年7月19日|<死去>新羅王「哀莊王」摂政の金彦昇が悌功とともに反乱を起こし王弟の体明侍衛も殺害
809年9月2日-09:00|韓国| ||新羅・憲徳王1年7月19日|<即位>新羅王「憲徳王」 (~826. 10死去)
809年10月5日-08:00|中国| ||唐・元和4年8月23日|環王が安南を寇し、都護の張舟がこれを破った
809年10月14日-09:00|日本|愛媛県|大同4年9月2日|嵯峨天皇の諱にふれる事から伊予国神野郡を新居郡と改名
809年11月11日-09:00|日本/朝鮮/中国| ||大同4年10月1日|渤海使高南容ら朝貢
809年11月19日-08:00|中国| ||唐・元和4年10月9日|成徳軍節度使の王承宗がそむき、保信軍節度使の薛昌朝を捕らえた
810年-02:00|エジプト| ||<就任>アッバース朝エジプト第44代アミール:ハティム・イブン・ハルマ (~811解任)
810年-01:00|フランス| ||<死去>カカソヌ伯「Bello」
810年-01:00|フランス| ||<就任>カカソヌ伯「Guisclafred」Belloの息子 (~821年死去)
810年-01:00|フランス/イタリア| ||ヴェネツィア共和国ランク王国を撃退
810年 00:00|イギリス| ||<即位>グウェント王「Idwallon ap Gwrgant」 (~842年)
810年 00:00|イギリス| ||<即位>ダイト王「オウエイン・アブ・マレディット」 (~811年)
810年2月8日-09:00|日本|千葉県銚子市|大同5年|弘法大師、飯沼観音 (円福寺) 創建<真言宗>
810年2月8日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|大同5年|弘法大師、大谷観音創建 (千手観音立像、大谷寺)<日本最古の磨崖仏>
810年2月8日-08:00|中国| ||南詔・龍興1年|南詔の勸龍晟が龍興 (-816年) と改元
810年2月8日-08:00|中国| ||渤海・永徳1年|渤海の大元瑜が永徳 (-812年) と改元
810年3月7日-08:00|中国| ||唐・元和5年1月28日|左神策軍大將軍のり定進が王承宗と戦い、ここに死んだ
810年4月17日-09:00|日本| ||大同5年3月10日|蔵人所設置
810年5月24日-08:00|中国| ||唐・元和5年4月18日|河東節度使の范希朝・義武軍節度使の張茂昭が王承宗と木刀溝で戦い、これを破った
810年6月-01:00|デンマーク| ||夏|<死去>デンマーク王「グドフレッド」傭兵に殺される
810年6月-01:00|デンマーク| ||夏|<即位>デンマーク王「ヘミング」ゴスフレズ の甥 (~812年死去)
810年7月8日-01:00|イタリア| ||<死去>イタリア王・ランゴバルド王「ピピン」1世
810年7月8日-01:00|イタリア| ||<即位>イタリア・ランゴバルド王代行「ワラ」 (~813年9月)
810年8月1日-09:00|日本| ||大同5年6月28日|観察使を廃止/参議復活
810年10月11日-09:00|日本| ||大同5年9月10日|薬子の変/藤原薬子・仲成らが平城天皇の復位を企てて失敗
810年10月12日-09:00|日本| ||大同5年9月11日|藤原仲成、射殺/平城上皇、藤原薬子を伴い東国に向かうも天皇軍に阻まれる
810年10月13日-09:00|日本| ||大同5年9月12日|平城上皇剃髪。藤原薬子自害/薬子の変
810年10月20日-09:00|日本| ||弘仁1年9月19日|大同から弘仁に改元
810年11月-03:00|イラク| ||アッバース朝カリフ継承権をめぐる、アミンとマムーンが内紛
810年11月1日-09:00|日本|京都府京都市|弘仁1年10月|賀茂斎院が置かれる/初代賀茂斎院:有智子内親王
810年11月1日-08:00|中国| ||唐・元和5年10月|この月、義武軍兵馬使の張佐元がそむき、処刑された
810年11月1日-08:00|中国| ||唐・元和5年10月|張茂昭が易・定の二州をもって官吏に帰順
810年11月14日-08:00|中国| ||唐・元和5年10月14日|義武軍都虞候の楊伯玉がそむき、処刑された
811年-02:00|エジプト| ||<就任>アッバース朝エジプト第45代アミール:ガバー・イブン・アルアッシャス・アルタター (~812)
811年-01:00|フランス| ||<死去>メヌ公「シャル若公」

0850迄 (1117件)

- 811年-01:00|イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィア共和国第10代ドージェ(元首)「アンジエロ・パルチザツォ」(~827年)
- 811年-01:00|フランス| |||<就任>トゥールーズ伯「レモン・ラフィネ」(~818年)
- 811年 00:00|イギリス| |||<死去>ダウイット王「Owain ap Maredudd」
- 811年 00:00|イギリス| |||<死去>ダリアウ王「Conall mac Aedain」
- 811年 00:00|イギリス| |||<即位>ダウイット王「Triffyn ap Rhain」(~814年死去)
- 811年 00:00|イギリス| |||<即位>ダリアウ王「Domhnall mac Gaustantin」(~835年死去)
- 811年1月28日-09:00|日本| ||弘仁2年|朝廷が出羽・陸奥の百姓の墾田に対する収公を禁止
- 811年1月28日-09:00|日本| 京都府京都市右京区|弘仁2年|弘法大師, 五智山如来寺建立(→化野念仏寺)<平安京以来の風葬の地>
- 811年2月7日-09:00|日本| ||弘仁2年1月11日|陸奥国に和我・斯波・稗縫の3郡を置く
- 811年2月27日-09:00|日本| ||弘仁2年2月|朝廷が郡司の任用で譜代優先の制を復活
- 811年3月28日-09:00|日本| ||弘仁2年3月|陸奥出羽按察使征夷將軍文室綿麻呂、爾薩休、弊伊の2村の蝦夷を討つ
- 811年3月31日-08:00|中国| ||唐・元和6年3月4日|隕石がウ州に落ちた
- 811年5月-03:00|イラク| ||カフ・アミンが派遣した遠征軍をマムーンの大將軍ターヒル・ブン・フサインがレイ近郊で撃退
- 811年5月12日-09:00|日本| ||弘仁2年4月17日|文室綿麻呂が征夷將軍に任ぜられる
- 811年6月17日-09:00|日本| ||弘仁2年5月23日|<死去>坂上田村麻呂/54歳(誕生:天平宝字2(758))征夷大將軍だった
- 811年7月26日-02:00|ブルガリア/トルコ| |||<死去>東ローマ帝国皇帝「ニコフォロス1世」第一次ブルガリア帝国討伐で戦死(誕生760年頃)
- 811年7月26日-02:00|トルコ| |||<即位>東ローマ帝国皇帝「スツラキス」ニコフォロス1世の子(~10.2)
- 811年10月2日-02:00|トルコ| |||<即位>東ローマ帝国皇帝「ミハイル1世ラガベ」ニコフォロス1世の娘婿でスツラキスの義弟(~08130622)
- 811年10月2日-02:00|トルコ| |||<退位>東ローマ帝国皇帝「スツラキス」
- 811年12月17日-09:00|日本| ||弘仁2年11月28日|左右衛士府を左右衛門府と改名
- 812年-08:00|インドネシア| |||<即位>シャイレントラ朝国王「サマラウタカ」(~833年)
- 812年-05:30|スリランカ| |||<死去>アヌラダプラ王国国王「Dappula2世」
- 812年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプラ王国国王「Mahinda3世」Dappula2世の息子(~816年死去)
- 812年-02:00|エジプト| |||<就任>アッハース朝エジプト第46代アミール:アハッド・イビン・ムハンマド・イビン・ハヤン(~813解任)
- 812年-01:00|チュニジア| |||<死去>アグラフ朝「イブラヒム1世」
- 812年-01:00|デンマーク| |||<死去>デンマーク王「ハミンク」
- 812年-01:00|イタリヤ| |||<就任>トスカーナ辺境伯「ホニファチヨ1世」建国(~813年)
- 812年-01:00|フランス| |||<就任>ルション伯「Gaucelm」(~832年)
- 812年-01:00|チュニジア| |||<即位>アグラフ朝「アブド・アッラーフ1世」(~817年)
- 812年-01:00|デンマーク| |||<即位>デンマーク王「リクス・リンク」「アヌ」(~同年死去)→「ハラル・クーク」とその弟「ラグナリス」と「ハミンク・ハルファソン」(~813年)
- 812年-01:00|クロアチア/トルコ| |||イテラ/ザラをビザンチン支配(~1001年)
- 812年-01:00|クロアチア/トルコ| |||スパラトウム/スパラトをビザンチン支配(~1084年)
- 812年 00:00|イギリス| |||エセックスはマシアの一部(~825年)
- 812年1月11日-02:00|トルコ| |||<死去>前東ローマ帝国皇帝スツラキス
- 812年1月13日-01:00|フランス/トルコ| |||ビザンチン皇帝がフランク王カールの皇帝就任を承認
- 812年1月18日-08:00|中国| ||唐・元和6年閏12月1日|辰州・韶州の首領の張伯靖がそむき、播・費二州を寇した
- 812年2月17日-08:00|中国| ||渤海・永徳3年|<死去>渤海国王「定王大元璵」
- 812年2月17日-08:00|中国| ||渤海・永徳3年|<即位>渤海国王「僖王大言義」(~朱雀5年(817年)死去)
- 812年3月26日-09:00|日本| ||弘仁3年2月10日|<任命>鎮守府將軍「物部匠璿足繼」(~不詳)
- 812年4月6日-09:00|日本| ||弘仁3年2月21日|采女司を復す
- 812年4月14日-09:00|日本/韓国| ||弘仁3年2月29日|新羅人110人が、5艘に乗船し、小値賀島(小近島)に着岸、島民と交戦し、島民が、新羅人9人を打ち殺し、101人を捕虜にした
- 812年4月15日-09:00|日本| 岩手県紫波郡矢巾町|弘仁3年3月|徳丹城を造り、志波城の機能を移転
- 812年6月13日-09:00|日本| ||弘仁3年5月|国司が公廩田の外に水陸田を営むことを禁止
- 812年7月14日-09:00|日本| 大阪府大阪市淀川区|弘仁3年6月3日|<架設>摂津国長柄橋
- 812年9月14日-09:00|日本| ||弘仁3年8月6日|<死去>布勢内親王、皇族(生年生年未詳)
- 812年10月9日-08:00|中国| ||新羅・哀莊王13年;渤海・永徳3年9月|新羅、渤海に遣使
- 812年10月15日-02:00|ブルガリア| |||クルム率いる第一次ブルガリア帝国軍が、メソポリア(現・セバル、東ローマ帝国領内)を攻撃し、占領
- 812年10月31日-02:00|ブルガリア| |||東ローマ帝国軍が包圍戦によってクルム軍を撤退させる
- 812年11月8日-08:00|中国| ||唐・元和7年10月|この月、魏博節度使の田興が六州をもって官吏に帰順
- 813年-04:00|ジョージア| |||<再任>イベリア公「アソット1世」(~826年)
- 813年-02:00|エジプト| |||<就任>アッハース朝エジプト第47代アミール:アルムタワ・イビン・アブダラ・アルクザイ(~814解任)
- 813年-01:00|スペイン| |||<就任>アンブリアス伯「Ermenguer」(~817年)
- 813年-01:00|デンマーク| |||<即位>デンマーク王「リク1世」(~854年死去)
- 813年2月5日-09:00|日本| ||弘仁4年|讃岐国の青目上人、備後国府中に青目寺を開く

0850迄 (1117件)

- 813年2月5日-09:00|日本|奈良県奈良市|弘仁4年|<建立>興福寺南円堂(藤原冬嗣により)
- 813年2月5日-08:00|中国| ||渤海・朱雀1年|渤海の大言義が朱雀(-817年)と改元
- 813年3月7日-08:00|中国| ||唐・元和8年2月|唐・李吉甫が「元和郡県図志」を完成
- 813年3月8日-09:00|日本| ||弘仁4年2月3日|僧尼の度縁受戒を改訂/僧尼の身元を明確にするため、度縁を持つて証明書とすることに、改訂された
- 813年4月22日-09:00|日本/韓国| ||弘仁4年3月18日|肥前の五島・小近島(小値賀島)に、新羅人110人が五艘の船に乗り上陸、島民9人を打ち殺し101人を捕虜にした
- 813年6月22日-02:00|トルコ| ||<即位>東ローマ帝国皇帝「レオン5世アルメニオス」ハトリキオスのバルタスの子(~8201224死去)
- 813年6月22日-02:00|トルコ| ||<退位>東ローマ帝国皇帝「ミカエル1世ラウガベ」
- 813年6月22日-02:00|ブルガリア/トルコ| ||<グェルシキアの戦い>トキアのグェルシキア要塞で東ローマ帝国クルム・ハーンと第一次ブルガリア帝国ミカエル1世ラウガベとの間で行われた戦いでブルガリアが決定的な勝利をおさめた
- 813年7月1日-09:00|日本| ||弘仁4年5月30日|征夷大將軍に再び文室綿麻呂を任命
- 813年7月2日-09:00|日本| ||弘仁4年6月1日|僕隸の遺棄を禁止/当時、僕隸を酷使し、僕隸が病気になる、そのまま遺棄し、病死や餓死させる例が相次いだ。そこで、僕隸を遺棄した五位以上の官人に、「杖打ち百」の刑罰を与えることとした
- 813年7月31日-08:00|中国| ||唐・元和8年秋|吐蕃、岷州に寇する
- 813年9月-01:00|イタリヤ| ||<就任>イタリヤ摂政「アタルハルト・デ・コルベ」(~814年)
- 813年9月-01:00|イタリヤ| ||<即位>イタリヤ王「ベルナルド・ピピン」1世の私生児(~817年12月~08180417, 叔父のルダウゴ1世に処刑される)
- 813年9月11日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリヤ| ||<即位>フランク・ローマ皇帝「ルートヴィヒ1世敬虔王」カール1世大帝の息子(08140128まで共同統治~08400620没)
- 813年9月13日-08:00|中国| ||唐・元和8年8月15日|湖南觀察使の柳公綽が張伯靖を討ち張伯靖が降った
- 813年9月27日-03:00|イラク| ||<死去>バグダート・アッバース朝第6代カリフ「アミン」殺害される
- 813年9月27日-03:00|イラク| ||<即位>バグダート・アッバース朝第7代カリフ「マムン」(~08330807死去)「知恵の館」を設立
- 813年10月26日-09:00|日本|長崎県対馬市|弘仁4年9月29日|対馬島に新羅訳語を一人設置
- 813年12月17日-09:00|日本| ||弘仁4年11月21日|入京越訴の多発を理由として、夷俘問題を専門に担当する夷俘専当国司が置かれた
- 814年-05:30|インド| ||<即位>ラシュトラクータ朝国王「アモガヴァルシヤ1世」(~877年)
- 814年-02:00|エジプト| ||<就任>アッバース朝エジプト第48代アミール「アルアッバス・イブン・ムサ・イブン・イサ・アルアバシ」(~814)→同年<就任>第49代アミール「アルムタリブ・イブン・アブ・タラ・アルクサイ」(~815)
- 814年-01:00|フランス| ||<就任>トゥールーズ伯「ベランジエ賢伯」(~835. 6死去)
- 814年-01:00|フランス| ||<就任>ホウエイ伯「Bernard1世」(~828年)
- 814年-01:00|フランス| ||<即位>ブルグニュ王「モラン」封臣として仕えていたカール大帝死去に伴いブルグニュ人貴族からブルグニュ王と呼ばれた最初の君主(~818年フランク王国ルイ敬虔王に敗北死去)
- 814年 00:00|イギリス| ||<死去>ダイト王「Triffyn ap Rhain」
- 814年 00:00|イギリス| ||<死去>ノーザンブリア王「Eardulf Eardwulfes sunu」子(~850年)
- 814年 00:00|イギリス| ||<即位>ダイト王「Hyfaidd ap Bledrig」(~893年死去)
- 814年 00:00|イギリス| ||<即位>ノーザンブリア王「Eanraed Eardwulfes sunu」(~844年死去)
- 814年1月6日-08:00|中国| ||唐・元和8年12月11日|振武の將の楊遵憲がそむき、その節度使の李進賢を追放
- 814年1月25日-09:00|日本| ||弘仁5年|「凌雲集」(漢詩文集)小野岑守、菅原清公、勇山文継らによって編纂撰進
- 814年1月25日-09:00|日本|島根県|弘仁5年1月|出雲国移配蝦夷の反乱(荒檀の乱)勃発(2月鎮圧)
- 814年1月28日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリヤ| ||<死去>初代フランク・ローマ皇帝「カール1世大帝」/71歳(誕生07420402)
- 814年4月13日-02:00|ブルガリア| ||<死去>ブルガリア帝国ハン「クルム」
- 814年4月13日-02:00|ブルガリア| ||<即位>ブルガリア帝国ハン「オムルタグ」(~831年)「ドクム」(~815年)「ディツェウグ」(~814年)
- 814年5月-01:00|スペイン| ||アンダルスで西ウマイヤ朝に対する反乱が勃発
- 814年5月30日-09:00|日本| ||弘仁5年5月8日|嵯峨天皇の皇子、皇女に源の姓を与える(嵯峨源氏)
- 814年6月21日-09:00|日本| ||弘仁5年6月|最初の勅撰文学作品集(漢詩集)『凌雲集』が作られた
- 814年6月21日-09:00|日本| ||弘仁5年6月1日|万多親王ら「新撰姓氏録」撰進
- 814年11月15日-09:00|日本/朝鮮/中国| ||弘仁5年9月30日|渤海使、出雲に来着
- 815年-05:30|インド| ||<即位>パルティヤ朝君主「Srimara Srivallabha」(~862年)
- 815年-03:30|イラン| ||<即位>カリフ「アト」王朝君主「Qarin ibn Vindadhurmuzd」(~817年)
- 815年-01:00|フランス| ||<就任>パリ伯「ベゴン」(~8161028死去)
- 815年1月-03:00|イラク| ||アブ・アッサーヤがアリ家のムハンマド・ブン・タハ-タハ-をイラムに仕立てターファで反乱(10月鎮圧)
- 815年2月13日-09:00|日本|大阪府河内長野市|弘仁6年|弘法大師が雲心寺の寺号を観心寺と改称
- 815年2月13日-08:00|中国| ||吐蕃・彝泰1年|<死去>吐蕃ツェンポ「ティク・ツツェン」(赤徳松贊)
- 815年2月13日-08:00|中国| ||吐蕃・彝泰1年|<即位>吐蕃ツェンポ「ティク・デツェン」(~838年死去)/彝泰(-838年)と改元
- 815年3月16日-08:00|中国| ||唐・元和10年2月2日|巖綬が呉元済と磁丘で戦い、敗れた
- 815年5月11日-08:00|中国| ||唐・元和10年3月29日|忠武軍節度使の李光顔が呉元済と臨潁で戦い、これを破った

0850迄 (1117件)

- 815年5月15日-08:00|中国| ||唐・元和10年4月3日|南頓で忠武軍節度使の李光顔が呉元済を破った
- 815年7月6日-08:00|中国| ||唐・元和10年5月26日|時曲で忠武軍節度使の李光顔が呉元済を破った
- 815年8月28日-09:00|日本| ||弘仁6年7月20日|万多親王らが「新撰姓氏録」を撰上
- 815年9月2日-09:00|日本| ||弘仁6年7月25日|国司の任期を4年と改める
- 815年9月7日-08:00|中国| ||唐・元和10年8月1日|朔、日食があった
- 815年9月15日-08:00|中国| ||唐・元和10年8月9日|李師道の将の嘉珍が東都でそむき、留守の呂元膺がこれを破った
- 815年10月3日-08:00|中国| ||唐・元和10年8月27日|李光顔が呉元済と時曲で戦い、敗れた
- 815年11月-03:00|イラク| ||アッバース朝のムハンマド・ブン・ジヤールがメッカで蜂起(2ヶ月後鎮圧)
- 815年11月29日-09:00|日本| ||弘仁6年10月25日|服色・乗車の制を定める
- 815年12月9日-08:00|中国| ||唐・元和10年11月5日|李光顔・烏重胤が呉元済と小?河で戦い、これを破った
- 815年12月14日-08:00|中国| ||唐・元和10年11月10日|李文通がまた呉元済を固始で破った
- 816年-05:30|スリランカ| ||<死去>アヌラダプーラ王国国王「Mahinda3世」
- 816年-05:30|スリランカ| ||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Aggabodhi8世」Mahinda3世の兄弟(~827年)
- 816年 00:00|イギリス| ||<死去>グウィネト王「Cynan Dindaethwy ap Rhodri」
- 816年 00:00|イギリス| ||<即位>グウィネト王「Hywel ap Caradog」(~826年死去)
- 816年1月10日-08:00|中国| ||唐・元和10年12月7日|武寧軍都押衙の王智興が李師道と平陰で戦い、これを破った
- 816年2月2日-09:00|日本|長崎県壱岐市|弘仁7年|異賊襲来に備え、壱岐島内の2か所の関を置き、14か所の要害を構える
- 816年2月2日-08:00|中国| ||南詔・龍興7年|<死去>南詔王「勸竜晟」弄棟節度・王嵯巔に殺される
- 816年2月2日-08:00|中国| ||南詔・全義1年|<即位>南詔王「勸利晟」(~823年)
- 816年2月2日-08:00|中国| ||唐・元和11年|円州節度使の劉?が、兵馬50万の精鋭と反乱し、皇帝は、諸道の兵士を徴発・討伐しようとしたが、戦勝できず、天下は騒乱状態
- 816年2月2日-08:00|中国| ||南詔・全義1年|南詔の勸利晟が全義(-819年)と改元
- 816年2月10日-08:00|中国| ||唐・元和11年1月9日|幽州盧龍軍節度使の劉?が王承宗と武彊で戦い、これを破った
- 816年3月3日-09:00|日本| ||弘仁7年2月|左衛門尉興世書主に檢非違使の役を兼任させる(檢非違使の初見)
- 816年4月-02:00|エジプト| ||<就任>アッバース朝エジプト第50代アミール:アルカリ・ビーン・アルハカム(~816.9)
- 816年5月5日-08:00|中国| ||唐・元和11年4月5日|李光顔・烏重胤が呉元済と凌雲柵で戦い、これを破った
- 816年5月20日-08:00|中国| ||唐・元和11年4月20日|劉?が王承宗と深州で戦い、これを破った
- 816年6月1日-08:00|中国| ||唐・元和11年5月2日|宥州軍が乱を起こし、その刺史の駱怡を追放したので、夏綏銀節度使の田縉がこれを破った
- 816年6月12日-01:00|パキスタン| ||<死去>第96代ローマ教皇「レオ3世」
- 816年6月21日-08:00|中国| ||唐・元和11年5月22日|雲南蛮が安南を寇した
- 816年6月22日-01:00|パキスタン| ||<就任>第97代ローマ教皇「ステファヌス5世」(~8170124死去)
- 816年7月8日-08:00|中国| ||唐・元和11年6月10日|唐鄧節度使の高霞寓が呉元済と鉄城で戦い、敗れた
- 816年7月29日-09:00|日本| ||弘仁7年7月|鑄銭司を廃止
- 816年8月-03:00|イラク| ||カフ・マムーン総督ハサン・ブン・ハサドに対してバグダットの軍人、市民が反乱
- 816年8月5日-09:00|日本| ||弘仁7年7月8日|空海が高野山に道場開設の許可を得る
- 816年8月15日-08:00|中国| ||唐・元和11年7月18日|韓弘が元済と兗州で戦い、これを破った
- 816年9月-02:00|エジプト| ||<就任>アッバース朝エジプト第51代アミール:スリマン・イブン・ガレブ・イブン・ガブリエル・アルバグリー(~817.3)
- 816年9月10日-08:00|中国| ||唐・元和11年8月15日|西原蛮が賓・巒二州を陥した
- 816年9月12日-09:00|日本| ||弘仁7年8月16日|大嵐の為、羅城門が倒壊
- 816年9月21日-08:00|中国| ||唐・元和11年8月26日|昭義軍節度使の于士美が王承宗と柏郷で戦い、これを破った
- 816年10月28日-01:00|フランス| ||<死去>トゥールズ伯・パリ伯「ベゴン」
- 816年10月28日-01:00|フランス| ||<就任>パリ伯「ルター1世」⇒「ジェラルド2世」ジェラルド・ルシヨン(~841年)
- 816年11月26日-08:00|中国| ||唐・元和11年11月4日|邕管経略使の韋悦が賓・巒二州を落とした
- 817年-03:30|イラン| ||<死去>パハント朝太守「Sharwin1世」
- 817年-03:30|イラン| ||<即位>パハント朝太守「Shahriyar1世」(~825年死去)
- 817年-02:00|ブルガリア/トルコ| ||ビザンティン帝レオン5世がメセンブリアでブルガリア軍を大破
- 817年-01:00|スペイン| ||<就任>アンブリアス伯「Gaucelm」(~832年)
- 817年-01:00|フランス| ||<即位>アキテーヌ王(カロリング朝)「ヒピニン1世」ルイ1世の子(~8381213死去)
- 817年-01:00|チュニジア| ||<即位>アグラフ朝「スィヤダ・アラフ1世」(~8380610死去)
- 817年-01:00|ドイツ/オーストリア| ||<即位>バリエル国王「ルトウヒ2世」フランク王国(カロリング朝)国王ルトウヒ1世の息子(~864年息子のカルマンにバリエルの統治を委ねる)
- 817年-01:00|イタリア| ||<即位>フリウリ公「カドラー」(~819年)
- 817年-01:00|イタリア| ||<即位>ベネヴェント大公「シコ1世」(~832年)
- 817年-01:00|フランス| ||<即位>メヌ公「ロタル1世」(~831年)
- 817年-01:00|フランス/パキスタン| ||ルトウヒと新教皇が協約し、領土保有と王位継承権を相互承認
- 817年1月19日-08:00|中国| ||唐・元和11年12月28日|西原蛮が巖州を陥した

0850迄 (1117件)

817年1月21日-08:00|中国| ||渤海・朱雀5年|<死去>渤海国王「僖王大言義」
817年1月21日-08:00|中国| ||渤海・朱雀5年|<即位>渤海国王「簡王大明忠」(~太始元年(818年)死去)
817年1月21日-08:00|中国| ||唐・元和12年|この年、容管経略使の陽旻が欽・横・潯・貴の四州を落とした
817年1月24日-01:00|バチカン| ||<死去>第97代ローマ教皇「ステファヌス5世」
817年1月25日-01:00|バチカン| ||<就任>第98代ローマ教皇「パスカス1世」(~08240211死去)
817年2月17日-08:00|中国| ||唐・元和12年1月28日|彗星が畢に出た
817年3月-02:00|エジプト| ||<就任>アッバース朝エジプト第52代アミール「アルカリ・イブン・アルハカム」(~820. 11)
817年3月12日-09:00|日本| ||弘仁8年2月21日|<死去>桓武天皇皇女無品甘南備内親王(18/母:藤原東子、平城天皇妃、藤原薬子姪)
817年4月21日-08:00|中国| ||唐・元和12年4月2日|唐鄧隋節度使の李愬が呉元済と?か山で戦い、これを破った
817年4月25日-08:00|中国| ||唐・元和12年4月6日|李光顔が呉元済を?城で破った
817年5月14日-09:00|日本| ||弘仁8年4月25日|<死去>桓武天皇皇女朝原内親王(39/母:妃酒人内親王、第23代伊勢斎王、平城天皇妃)
817年5月21日-08:00|中国| ||唐・元和12年5月2日|李愬がまた呉元済を張柴で破った
817年7月-01:00|イタリヤ| ||<即位>イタリヤ王「フョタル1世」(~08440615)
817年9月1日-09:00|日本| ||弘仁8年7月17日|<弘仁8年摂津国沿岸暴風雨・高潮「摂津大風」>摂津国で津波が起こり220人が溺死
817年9月20日-08:00|中国| ||唐・元和12年8月6日|烏重胤が呉元済と賈店で戦い、敗れた
817年11月10日-08:00|中国| ||唐・元和12年9月28日|李愬が呉元済と呉房で戦い、これを破った
817年11月29日-08:00|中国| ||唐・元和12年10月17日|李愬が蔡州を落とした
817年12月12日-08:00|中国| ||唐・元和12年11月|介落ら、唐に使を遣わす
818年-06:30|ミャンマー| ||<即位>アラカン国王「キツティン」(~828年)
818年-03:30|イラン| ||<即位>カリフ「アト」王朝君主「Mazyar」(~839. 9死去)
818年-03:00|イェメン| ||<即位>ジヤティット朝アミール「Muhammad ibn Ziyad」(~859年)
818年-01:00|フランス| ||<死去>ブルターニュ王「モルタン」年フランク王国尉敬虔王に敗北
818年-01:00|フランス| ||<就任>ナント伯「Lambert1世」(~831年)
818年-01:00|イタリヤ| ||<即位>パトリック「テオクティスタス」(~821年退位)
818年2月9日-08:00|中国| ||渤海・太始1年|<死去>渤海国王「簡王大明忠」
818年2月9日-08:00|中国| ||渤海・太始1年|<即位>渤海国王「宣王大仁秀」(~建興12年(830年)死去)
818年2月9日-08:00|中国| ||渤海・太始1年|渤海の大明忠が太始(818年)と改元
818年3月25日-01:00|スペイン| ||西ウマイヤ朝のアル・ハカムがコルドバの市民暴動に対し大虐殺
818年4月9日-09:00|日本| ||弘仁9年3月|長門国司を鑄銭使とする
818年4月17日-01:00|イタリヤ| ||<死去>前イタリヤ王「ベルナルド」叔父のルトウ・イコ1世に処刑される
818年4月17日-01:00|イタリヤ| ||<即位>イタリヤ王「ルトウ・イコ1世」フランク王でカロ・マーニョの三男。家督争いに勝利を収め全ての王位を継承(~822年)
818年5月1日-09:00|日本| ||弘仁9年3月23日|朝会の礼・常服などを唐法に准じる事と定める
818年5月31日-09:00|日本| 京都府京都市右京区|弘仁9年4月23日|太秦広隆寺堂塔全焼
818年6月28日-09:00|日本| ||弘仁9年5月22日|賀茂斎院司を設置/嵯峨天皇皇女有智子内親王(母:交野女王)賀茂斎王に卜定
818年7月7日-08:00|中国| ||唐・元和13年6月1日|朔、日食があった
818年8月6日-09:00|日本| ||弘仁9年7月|<弘仁9年関東地震>関東地方でマグニチュード7.5クラスと推定される大規模な内陸型地震/相模、武蔵、下総、常陸、下野、上野など、関東一円で山崩れが続発して谷を埋めること数里に及び、そのため洪水も起きた/農民多数が圧死
818年9月-03:00|イラク| ||カリフのマムーンが後継を約したアリ家のアッバドを毒殺
818年11月13日-08:00|中国| ||唐・元和13年10月12日|吐蕃が宥州を寇したので、靈武節度使の杜叔良が定遠城でこれを破った
818年12月2日-09:00|日本| ||弘仁9年11月1日|富寿神宝を鑄造
819年-08:00|インドネシア| ||<即位>スダタ・ガルヤ王国マハラジャ「Prabu Gajah Kulon Rakeyan Wuwus」(~891年)
819年-05:00|ウズベキスタン| ||<即位>サマン朝(サマルカント)アミール「Nuh ibn Asad」(~841年死去)
819年-05:00|ウズベキスタン| ||<即位>サマン朝(シャッシュ)アミール「Yahya ibn Asad」(~855年死去)
819年-05:00|ウズベキスタン/キルギス/タジキスタン| ||<即位>サマン朝(フェルガナ)アミール「Ahmad ibn Asad」(~864年死去)
819年-04:30|アフガニスタン| ||<即位>サマン朝(ヘラート)アミール「Ilyas ibn Asad」(~856年死去)
819年-03:00|イェメン| ||イェメンでアブド・アッラーフがス・イヤト朝を創始
819年-01:00|フランス| ||<就任>オーベルニュ伯「Guerin of Provence」(~839年)
819年-01:00|イタリヤ| ||<即位>フリウーリ公「ハルテリク」(~828年)
819年-01:00|デンマーク| ||<復位>デンマーク王「ハラルド・クレーク」(~827年)
819年 00:00|アイルランド| ||<即位>アイルランド 上王「コンチョバ・マクト・ンチャダ」(~833年没)
819年1月30日-08:00|中国| ||渤海・建興1年|渤海の大仁秀が建興(-830年)と改元
819年2月5日-09:00|日本| ||弘仁10年1月7日|<任命>鎮守府将軍「坂上浄野」(~不詳)
819年2月25日-08:00|中国| ||唐・元和14年1月27日|田弘正が李師道と陽穀で戦い、これを破った
819年3月30日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・憲徳王11年3月|各地の賊徒がいつせいに蜂起したが、諸州の都督や太守に命じて鎮圧することに成功

0850迄 (1117件)

- 819年3月30日-09:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|弘仁10年3月|弘法大師(空海)、高野山に明神社を建立
819年5月30日-09:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|弘仁10年5月3日|弘法大師, 金剛峯寺創建<高野山真言宗総本山>
819年7月26日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||唐・元和14年;新羅・憲徳王11年7月|唐・ウ州(山東省済寧市)で李師道が反乱/新羅が將軍金雄元ら3万の兵を派遣し唐を援ける
819年8月9日-08:00|中国| ||唐・元和14年7月15日|沂海の將の王弁がその觀察使の王遂を殺し留後を自称
819年8月10日-03:00|イラク| ||ハゲタードの反乱が終息
819年11月8日-08:00|中国| ||唐・元和14年10月17日|安南の將の楊清がその都護の李象古を殺してそむいた
819年11月19日-08:00|中国| ||唐・元和14年10月28日|吐蕃が塩州を寇した
819年12月7日-08:00|中国| ||唐・元和14年11月17日|朔方の將の史敬奉が吐蕃と瓠蘆河で戦い、これを破った
819年12月10日-09:00|日本/朝鮮/中国| ||渤海・建興1年11月20日|渤海使李承英ら朝貢/翌年1月帰国
820年-01:00|アントラスペイン| ||<死去>ウルジェイ伯・サルダニャ伯「Borrell」
820年-01:00|スペイン| ||<就任>アラゴン伯「ガルシア・エル・マロ」アスナル・ガリト1世の女婿(~833年)
820年-01:00|アントラスペイン| ||<就任>ウルジェイ伯・サルダニャ伯「Aznar1世ガリト」(~839年死去)
820年-01:00|フランス| ||<就任>コンフラン伯「Oliba1世」(~837年死去)
820年-01:00|フランス| ||<就任>トア7伯「Aleran」(~852年)
820年-01:00|スペイン| ||<就任>ハルルメイ伯「ランボ」ジローナ伯、ハザル伯(~825年死去)
820年 00:00|イギリス| ||<死去>ビゴ外王「Causantin mac Ferghusa (Constantine1世)」
820年 00:00|イギリス| ||<即位>ビゴ外王「Oenghus mac Ferghusa (Angus2世)」(~834年死去)
820年1月19日-08:00|中国| ||南詔・大豊1年|南詔の勸利晟が大豊(-823年)と改元
820年2月14日-08:00|中国| ||唐・元和15年1月27日|<死去>唐第14代皇帝「憲宗李純」(43)陳弘志に殺される
820年2月16日-07:00|ベトナム| ||ベトナムでこのころ、禪宗無言通派の形成
820年2月20日-08:00|中国| ||唐・元和15年閏1月3日|<即位>唐第15代皇帝「穆宗李恒」(~長慶4年1月22日(824年2月25日)死去)
820年4月1日-09:00|日本| ||弘仁11年2月14日|遠江・駿河両国に移住していた新羅人七百人余りが叛乱、人民を殺害して奥舎を焼いた
820年4月19日-08:00|中国| ||唐・元和15年3月3日|杜叔良が吐蕃と戦い、これを破った
820年6月5日-09:00|日本| ||弘仁11年4月21日|律令を補足・修正するために出された法令を藤原冬嗣らが編纂した弘仁格が施行
820年6月14日-09:00|日本| ||弘仁11年5月|空海が「文鏡秘府論」を要約した「文筆眼心抄」を著す(中務省など官人の文章作成能力の向上という天皇の依頼に応えるためだったとみられている)
820年9月26日-08:00|中国| ||唐・元和15年8月16日|容管経略留後の嚴公素が黄洞蛮と神歩で戦い、これを破った
820年11月-02:00|エジプト| ||<就任>アッハース朝エジプト第53代アミール:アフルサー・イブン・アルカリ(~822)
820年11月23日-08:00|中国| ||唐・元和15年10月14日|吐蕃が涇州を寇し、右神策軍中尉の梁守謙が左右神策・京西・京北行營都監となってこれを禦いだ
820年11月26日-08:00|中国| ||唐・元和15年10月17日|吐蕃が遁走した
820年12月19日-09:00|日本| ||弘仁11年11月11日|文章生選抜制度を改める/三位以上の貴族の子弟を採用する事と定める
820年12月24日-02:00|トルコ| ||<死去>東ローマ帝国皇帝「レオン5世」次代の皇帝ミカエル2世派によって暗殺される(誕生770年代)
820年12月25日-02:00|トルコ| ||<即位>東ローマ帝国皇帝(アモリア朝)「ミカエル2世トラフリス(吃音者・どもる人)」近衛部隊長官(~08291002死去)
821年-01:00|フランス| ||<死去>ガクソヌス伯「Guisclafred」
821年-01:00|クロアチア| ||<死去>クロアチア公「ホルナ」
821年-01:00|フランス| ||<就任>ガクソヌス伯「Oliba1世」Belloの息子(~837年死去)
821年-01:00|クロアチア| ||<就任>クロアチア公「ウラジスラフ」(~829年)
821年-01:00|イタリア| ||<即位>ハシリ公「テオドア2世」⇒「ステファン3世」(~832年死去)
821年-01:00|アルバニア| ||<即位>ミラネー朝(アルバニア)大公「Varaz-Tiridates2世」(~822年)
821年-01:00|イタリア| ||<退位>ハシリ公「テオクティスタス」
821年 00:00|イギリス| ||<死去>マーシア王「コニウルフ・Cuthberhtes sunu」
821年 00:00|イギリス| ||<即位>ケント王「Baldraed」(~825年廃位)
821年 00:00|イギリス| ||<即位>マーシア王「フェオルウルフ・Cuthberhtes sunu(フェオルウルフ1世)」(~823年ハルノウルフに廃位される)
821年2月9日-08:00|中国| ||唐・長慶1年1月4日|唐・穆宗が長慶(-824年12月)と改元
821年2月10日-09:00|日本| 京都府京都市中京区|弘仁12年|右大臣藤原冬嗣、勸学院を創設
821年2月10日-09:00|日本| ||弘仁12年1月5日|「十條断例」を制定
821年3月-03:30|イラン| ||<即位>ターヒル朝国王「ターヒル・イブン・フサイン(ターヒル1世)」始祖(~822年死去)
821年3月7日-09:00|日本| ||弘仁12年1月30日|右大臣藤原冬嗣ら、「内裏式」を撰上
821年3月8日-08:00|中国| ||唐・長慶1年2月|<死去>回鶻可汗国第9代可汗「保義可汗(不明)アイ・テング・リテ・クト・ホルミシュ・アルフ・ヒルガ・カガン」
821年5月6日-08:00|中国| ||唐・長慶1年4月|<即位>回鶻可汗国第10代可汗「崇徳可汗(不明)キュン・テング・リテ・ウルク・

0850迄 (1117件)

ホ^ルミ^シ・キ^チユ^リク^グ・ヒ^ルケ[・]カ^ン (~824年)

- 821年6月14日-09:00|日本|兵庫県|弘仁12年5月11日|播磨国で銅鐸が発掘される
- 821年7月3日-08:00|中国| ||唐・長慶1年6月|彗星が昴に出現
- 821年7月9日-08:00|中国| ||唐・長慶1年6月7日|吐蕃が青塞烽を寇し、塩州刺史の李文悦がこれを破った
- 821年8月11日-08:00|中国| ||唐・長慶1年7月10日|幽州盧龍軍都知兵馬使の朱克融がその節度使の張弘靖を捕らえてそむいた
- 821年8月29日-08:00|中国| ||唐・長慶1年7月28日|成徳軍大将の王廷湊がその節度使の田弘正を殺してそむいた
- 821年9月8日-08:00|中国| ||唐・長慶1年8月9日|朱克融が莫州を陥落させた
- 821年9月9日-08:00|中国| ||唐・長慶1年8月10日|王廷湊が冀州を陥落させ、刺史の王進岌がここに死んだ
- 821年9月12日-08:00|中国| ||唐・長慶1年8月13日|王廷湊が深州を寇した
- 821年9月12日-08:00|中国| ||唐・長慶1年8月13日|瀛州軍が乱を起し、その観察使の盧士^{バイ}を捕らえ、叛いて朱克融についた
- 821年10月11日-08:00|中国| ||唐・長慶1年9月12日|相州軍が乱を起し、その刺史のケイ^ヲを殺した
- 821年10月30日-09:00|日本/朝鮮/中国| ||渤海・建興3年10月|渤海使王文矩^ラ来日/翌年1月帰国
- 821年11月8日-08:00|中国| ||唐・長慶1年10月10日|安史の乱後、交戦状態だった唐と吐蕃が長安で同盟を結ぶ
- 821年11月13日-08:00|中国| ||唐・長慶1年10月15日|王廷湊が貝州を陥落させた
- 821年11月14日-08:00|中国| ||唐・長慶1年10月16日|易州刺史の柳公済が朱克融と白石で戦い、これを破った
- 821年11月15日-08:00|中国| ||唐・長慶1年10月17日|横海軍節度使の烏重胤が王廷湊と饒陽で戦い、これを破った
- 821年11月26日-08:00|中国| ||唐・長慶1年10月28日|靈武節度使の李進誠が吐蕃と大石山で戦い、これを破った
- 821年11月29日-08:00|中国| ||唐・長慶1年11月1日|裴度が王廷湊と会星で戦い、これを破った
- 821年12月1日-08:00|中国| ||唐・長慶1年11月3日|朱克融が定州を寇すると、義武軍節度使の陳楚がこれを破った
- 822年-03:30|イラン| ||<死去>ターヒル朝国王「ターヒル・イブン・フサイン(ターヒル1世)」
- 822年-03:30|イラン| ||<即位>ターヒル朝国王「ターハ・イブン・ターヒル(ターヒル1世の子)(~828年死去)」
- 822年-03:30|イラン| ||<即位>ハ^タス[・]ニ^コ朝君主「Abdallah ibn Wandad」(~855年)
- 822年-03:00|イラク| ||<即位>ターヒル朝(ハ^クダ[・]ト[・]政^権)国王「Ishaq ibn Ibrahim al-Mus'abi」(~8500707病死)
- 822年-02:00|エジプト| ||<就任>ア^ハ・ス朝エジプト第54代アミール「カリド・ヒ^ン・ヤ^ト・ヒ^ン・マ^ジ・ヤ^ト」-><就任>第55代アミール「ウマイヤ・アラ[・]・ヒ^ン・アル^ガリ」(~826)
- 822年-01:00|イタリヤ| ||<死去>フランク王国ス^レト公「ウインゲス」
- 822年-01:00|イタリヤ| ||<即位>イタリヤ王「ロ^タ・リ^オ1世」中フランク王/フランク王国国王ルト^ウ・グ[・]イ[・]コ1世の長子(~8550923死去)
- 822年-01:00|イタリヤ| ||<即位>フランク王国ス^レト公「スッホ1世」(~8240305死去)
- 822年-01:00|フランス| ||<即位>ブル^グ・ニュ[・]王「グ[・]イ[・]オ[・]マルク」ブリ^ト人復権のためのフランク王国に対する反乱を成功に導いた(~825年ブル^グ・ニュ[・]辺境伯領のナ^ト伯ラ^ンバル^ト1世に殺された)
- 822年 06:00|ホ^ンヅ[・]ユ^ラス| ||マヤ文明のコ^ハン王朝が亡びる
- 822年1月4日-08:00|中国| ||唐・長慶1年12月8日|杜叔良が王廷湊と博野で戦い、敗れた
- 822年1月11日-08:00|中国| ||唐・長慶1年12月15日|陳楚が朱克融と望都で戦い、これを破った
- 822年1月23日-08:00|中国| ||唐・長慶1年12月27日|陳楚が朱克融と清源で戦い、これを破った
- 822年1月27日-09:00|日本| ||弘仁13年|この年日本霊位記できる
- 822年2月3日-08:00|中国| ||唐・長慶2年1月8日|魏博軍が南宮で潰滅
- 822年2月10日 06:00|ホ^ンヅ[・]ユ^ラス| ||<即位>コ^ハン王「ウ^キト[・]ト[・]ウ^ク」
- 822年2月26日-09:00|日本|山梨県韮崎市|弘仁13年|嵯峨天皇の勅命により武田八幡宮創建
- 822年3月8日-09:00|日本|奈良県奈良市|弘仁13年2月11日|空海、大和東大寺に灌頂道場(真言院)を建立
- 822年3月27日-09:00|韓国| ||新羅・憲徳王14年3月|<即位>長安王「金憲昌」新羅に反乱、朝鮮半島南西部を占拠自立/国号を長安とし慶雲元年と宣言/同月のうちに反乱平定、慶雲年号は直ちに廃止
- 822年4月25日-08:00|中国| ||唐・長慶2年4月1日|朔、日食があった
- 822年4月26日-08:00|中国| ||唐・長慶2年4月2日|成徳軍節度使の牛元翼が京師に逃れ、王廷湊が深州を陥落させた
- 822年5月21日-01:00|スペイン| ||<死去>後ウマイヤ朝第3代アミール「ハム1世」
- 822年5月21日-01:00|スペイン| ||<即位>後ウマイヤ朝第4代アミール「ア^ブド[・]ア^ッラ^フマ^ン2世」(~852年死去)
- 822年6月5日-08:00|中国| ||唐・長慶2年5月12日|ヨ^ウ州刺史の李元宗が叛き、黄洞蛮に亡命
- 822年6月26日-09:00|日本| ||弘仁13年6月4日|天台宗の開祖最澄没(57)
- 822年6月26日-08:00|中国| ||唐・長慶2年6月4日|宣武軍宿直の将の李臣則がその節度使の李愿を追放し、衙門都將の李[?]がそむいた
- 822年7月6日-08:00|中国| ||唐・長慶2年6月14日|吐蕃が靈州を寇し、塩州刺史の趙^カがこれを破った
- 822年8月10日-08:00|中国| ||唐・長慶2年7月20日|李[?]が宋州を陥落させた
- 822年8月18日-08:00|中国| ||唐・長慶2年7月28日|エン^ウ節度使の曹華が李[?]と宋州で戦い、これを破った
- 822年8月19日-08:00|中国| ||唐・長慶2年7月29日|忠武軍節度使の李光顔がまた尉氏で李[?]を破った
- 822年9月3日-08:00|中国| ||唐・長慶2年8月14日|宣武軍節度使の韓充がまた郭橋で李[?]を破った
- 822年9月19日-08:00|中国| ||唐・長慶2年9月1日|鎮海軍の將の王国清が反乱を計画し、処刑された
- 822年9月27日-08:00|中国| ||唐・長慶2年9月9日|徳州軍が乱を起し、その刺史の王稷を殺した

0850迄 (1117件)

- 823年-05:30|インド| |||<建国>ガウル(ケリハガア)国
823年 00:00|イギリス| |||<即位>マシア王「ハルン」(~826年殺害される)
823年 00:00|イギリス| |||<廃位>マシア王「チェル」1世「ハルン」により
823年2月15日-09:00|日本|茨城県つくば市|弘仁14年|筑波山神社創建
823年2月15日-08:00|中国| ||南詔・大豊4年|<死去>南詔王「勸利晟」
823年2月15日-08:00|中国| ||南詔・大豊4年|<即位>南詔王「勸豊祐」(~859年)
823年3月5日-09:00|日本|京都府京都市南区|弘仁14年1月19日|空海が天皇から京都の東寺を下賜され、教王護国寺と称する
823年3月5日-09:00|日本|高知県土佐清水市|弘仁14年1月19日|空海、土佐国足摺崎に金剛福寺を建立
823年4月5日-01:00|ドイツ/フランス/イタリア/オーストリア| |||<即位>フランク・ローマ皇帝「ロタリス1世」ルウイク1世の長男(08400620まで共同統治~08550929死去)
823年4月5日-09:00|日本| ||弘仁14年2月21日|太宰府管内の諸国に公営田制度を導入
823年4月10日-09:00|日本|滋賀県大津市|弘仁14年2月26日|比叡山寺が延暦寺と改号
823年4月15日-09:00|日本|石川県|弘仁14年3月1日|越前国[加賀郡、江沼郡]→加賀国分立
823年5月23日-08:00|中国| ||唐・長慶3年4月10日|陸州のリュウがそむいた
823年5月29日-09:00|日本| ||弘仁14年4月16日|<踐祚>踐祚(第52代嵯峨天皇の弟)/4月27日53代:淳和天皇として即位(~08330228)
823年5月29日-09:00|日本| ||弘仁14年4月16日|<退位>第52代嵯峨天皇
823年6月6日-09:00|日本| ||弘仁14年4月24日|<死去>文室綿麻呂、征夷大將軍、公卿(生年765年)
823年7月15日-09:00|日本|石川県|弘仁14年6月4日|加賀国江沼郡の北部から能美郡、加賀郡の南部から石川郡に分けられた
823年7月15日-09:00|日本|福井県|弘仁14年6月4日|丹生郡の18郷3駅のうち9郷1駅を割いて今立郡を立てる
823年8月23日-08:00|中国| ||唐・長慶3年7月14日|黄洞蛮が欽州を陥落させた
823年10月-02:00|トルコ| ||スラブ人のトマスが小アジアでビザンティン帝国に反乱し首都占領を目指す失敗
823年10月8日-08:00|中国| ||唐・長慶3年9月1日|朔、日食があった
823年11月16日-08:00|中国| ||唐・長慶3年10月10日|黄洞蛮が安南を寇した
823年12月28日-09:00|日本|京都府京都市|弘仁14年11月23日|大蔵省焼失
824年-04:00|オマン| |||<即位>オマン(元首)イマム:アムルマリク・ヒン・フマイド
824年-01:00|アンドラ/スペイン| |||<就任>ウルジェイ伯・サルタ・ニャ伯「Galindo1世Aznares」(~834年)
824年-01:00|スペイン| |||<即位>ハンブ・ローナ王「イニコ・アリス」フランク王国の権威に反旗を翻し建国(~851年)
824年-01:00|ノルウェー| |||<即位>エストフォルド王「Olav Gudrodsson "Geirstad-alv"」(~840年)
824年-01:00|アルジェリア| |||<即位>ムスリム朝イマム「アブー・サイド・アッラフ」アブド・アルワハブの子(~872年)
824年-01:00|フランス/バチカン| |||フランク王国の共同皇帝ロタリス1世がローマ協約を結ぶ/皇帝権が教皇権を上回ることを定める
824年2月4日-09:00|日本|東京都港区|弘仁15年|弘法大師、麻布山善福寺創建<真言宗→浄土真宗本願寺派>
824年2月4日-08:00|中国| ||唐・長慶4年|<死去>回鶻可汗国第10代可汗「崇徳可汗(不明)キム・テンク・リテ・ウルグ・ホルミシュ・キチリユク・ヒルグ・カガン」
824年2月4日-08:00|中国| ||唐・長慶4年|<即位>回鶻可汗国第11代可汗「昭礼可汗(曷薩特勤)アイ・テンク・リテ・クト・ホルミシュ・アルフ・ヒルグ・カガン」(~832年)
824年2月4日-08:00|中国| ||南詔・保和1年|南詔の勸豊祐が保和(-839年)と改元
824年2月8日-09:00|日本| ||天長1年1月5日|弘仁から天長に改元
824年2月11日-01:00|バチカン| |||<死去>第98代ローマ教皇「パスカリス1世」
824年2月25日-08:00|中国| ||唐・長慶4年1月22日|<死去>唐第15代皇帝「穆宗李恒」(30)清思殿で崩御
824年2月29日-08:00|中国| ||唐・長慶4年1月26日|<即位>唐第16代皇帝「敬宗李湛」(~宝曆2年12月8日(827年1月9日)死去)
824年3月5日-01:00|イタリア| |||<死去>フランク王国スレート公「スッポ1世」
824年3月5日-01:00|イタリア| |||<即位>フランク王国スレート公「アテラート」(~8月)
824年4月1日-08:00|中国| ||唐・長慶4年2月28日|黄洞蛮が降った
824年5月8日-01:00|バチカン| |||<就任>第99代ローマ教皇「エウゲニウス2世」(~08270827死去)
824年5月19日-08:00|中国| ||唐・長慶4年4月17日|染坊匠の張韶がそむき、左神策軍に幸し、張韶が処刑された
824年8月-01:00|イタリア| |||<即位>スレート公「マウリグ」⇒「アデルシ1世」(~834年死去)
824年8月5日-09:00|日本| ||天長1年7月7日|<死去>第51代平城天皇/51歳
824年9月-01:00|チュニジア| |||チュニスでマンスルがアグラブ朝に反乱し、カイワーンを占領
824年9月17日-08:00|中国| ||唐・長慶4年8月21日|黄洞蛮が安南を寇した
824年9月17日-08:00|中国| ||唐・長慶4年8月21日|中官の季文徳が反乱を計画し、処刑された
824年10月5日-09:00|日本| ||天長1年9月10日|勘解由使を復す
824年10月22日-09:00|日本|京都府京都市右京区|天長1年9月27日|河内国の神願寺を高雄山寺の地に移し、神護寺と称す
824年10月26日-09:00|日本| ||天長1年10月1日|多ね島司を廃止、[能満郡、熊毛郡、馭謨郡、益救郡]→[熊毛郡、馭謨郡]に統合、大隅国に編入
824年12月7日-08:00|中国| ||唐・長慶4年11月13日|環王と黄洞蛮が陸州を陥落させ、刺史の葛維がここに死んだ

0850迄 (1117件)

- 825年-03:30|イラン| |||<死去>パハント朝太宰「Shahriyar1世」
825年-03:30|イラン| |||<即位>パハント朝太宰「Shapur」⇒「Karenid Mazyar」(~839.9死去)
825年-01:00|スペイン| |||<死去>バルセロナ伯「ランボ」ジローナ伯、バザル伯
825年-01:00|フランス| |||<死去>ブルターニュ王「ガイヨルク」ブルターニュ辺境伯領のナント伯ランベルト1世に殺された
825年-01:00|デンマーク| |||ヘゼビューで北欧初の貨幣製造
825年 00:00|イギリス| |||<即位>ケント王「Athelwulf Ecgbehtes sunu(Ecgberht3世)」(~08390204死去)
825年 00:00|イギリス| |||<廃位>ケント王「Baldred」
825年 00:00|イギリス| |||ウェセックスがマーシアから分離(従属)王権の下でエセックス、セセックス、ケントを引き継ぎぐ(~860年)
825年1月23日-09:00|韓国| ||新羅・憲徳王17年1月|<即位>長安王「金梵文」高達山(京畿道驪州郡)を根拠として反乱(~830年北漢山州(京畿道広州市)の都督によって鎮圧)
825年1月29日-08:00|中国| ||唐・寶曆1年1月7日|唐・敬宗が宝曆(-827年2月)と改元
825年4月21日-09:00|日本|大阪府|天長2年3月30日|摂津国江南四郊を和泉国に属させる
825年5月1日-09:00|日本|大阪府|天長2年4月10日|摂津国府を豊島郡家以南に移す
825年7月24日-09:00|日本| ||天長2年7月6日|高棟王(桓武天皇の皇子である一品・葛原親王の長男)が平姓を賜って臣籍に下る(桓武平氏の誕生)
825年7月28日-09:00|日本|福井県|天長2年7月10日|若狭国遠敷郡を割いて大飯郡を立てる
825年8月9日-09:00|日本|京都府与謝郡伊根町|天長2年7月22日|<創建>浦嶋神社(本庄浜)
825年8月19日-09:00|日本| ||天長2年閏7月2日|葛原親王、重ねて子女に平姓賜姓を願い、許される/高棟王らに平姓を賜う(賜姓桓武平氏)
825年9月7日-09:00|日本|大阪府|天長2年閏7月21日|和泉国四郊を元に戻す
825年12月14日-08:00|中国| ||唐・寶曆1年11月1日|唐・宰相李訓が、宦官たちを一掃しようとして失敗し、殺される(甘露の変)
826年-05:45|バール| |||<即位>リッチャビ朝国王「Baliraja」
826年-02:00|エジプト| |||<就任>アッバース朝エジプト第56代アミール:アブ・ダウ・イブン・タヒア・アルカラニ(~827)
826年-01:00|スペイン| |||<就任>バルセロナ伯「セプティミア」辺境伯「バルト」(~832年)
826年 00:00|イギリス| |||<死去>グワイネッド王「Hywel ap Caradog」
826年 00:00|イギリス| |||<死去>マーシア王・イーストアングリア王「ハオルウルフ」殺される
826年 00:00|イギリス| |||<即位>イーストアングリア王「Athelstan1世」独立(~847年死去)
826年 00:00|イギリス| |||<即位>グワイネッド王「メルグ・イン・ガリフ・アブ・ゲリアト」(~845年死去)
826年 00:00|イギリス| |||<即位>マーシア王「ルデカ」(~827年戦死)
826年1月12日-09:00|日本/中国/朝鮮| ||渤海・建興7年12月|渤海使高承祖ら103人が隠岐に来着/翌年5月帰国
826年2月10日-09:00|日本|東京都足立区|天長3年|五智山遍照院総持寺(西新井大師)創建<真言宗豊山派>
826年4月25日-09:00|日本|大分県別府市|天長3年3月15日|竈門八幡宮(別府)に神宮寺が置かれる
826年5月11日-08:00|中国| ||唐・寶曆2年4月1日|横海軍節度使の李全略が亡くなり、その子の李同捷がそむいた
826年6月9日-09:00|日本| ||天長3年5月1日|<死去>淳和天皇皇子恒世親王(22/母:桓武天皇皇女高志内親王)
826年6月22日-08:00|中国| ||唐・寶曆2年5月13日|幽州盧龍軍が乱を起こし、その節度使の朱克融を殺し、その子の朱延嗣が節度使を自称
826年6月28日-09:00|日本| ||天長3年5月20日|良岑安世ら、『経国集』を撰上
826年7月21日-09:00|日本| ||天長3年6月13日|文章生選抜の制を旧に復す
826年8月7日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・憲徳王18年7月|新羅、カ江に長城を築く
826年8月30日-09:00|日本| ||天長3年7月24日|<死去>左大臣藤原冬嗣[0775年生~](享年52)
826年10月10日-09:00|日本| ||天長3年9月6日|上総・常陸・上野が親王任國となる
826年11月4日-09:00|韓国| ||新羅・興徳王1年10月|<死去>新羅王「憲徳王」
826年11月4日-09:00|韓国| ||新羅・興徳王1年10月|<即位>新羅王「興徳王」(~836.12死去)
827年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプラ王国国王「Dappula3世」Aggabodhi8世の弟(~843年)
827年-02:00|エジプト| |||<就任>アッバース朝エジプト第57代アミール:イブン・ヤズト・アルジュルテイ(~829)
827年-02:00|ギリシャ| |||<就任>イクリティア(クレタ島)首長「アブ・ハフス・ウマル1世アル=イクリティン」(~855年)
827年-02:00|ルーマニア/ブルガリア| |||トランシルバニアはブルガリアの一部(~895年)
827年-01:00|デンマーク| |||<即位>デンマーク王ホルク1世(~854年)
827年 00:00|イギリス| |||<死去>マーシア王「ルデカ」戦死
827年 00:00|イギリス| |||<即位>マーシア王「ウイグラーフ」(1期目~829年廃位)
827年1月9日-08:00|中国| ||唐・寶曆2年12月8日|<死去>唐第16代皇帝「敬宗李湛」(18)劉克明らに殺される
827年1月13日-08:00|中国| ||唐・寶曆2年12月12日|<即位>唐第17代皇帝「文宗李昂」(~開成5年1月4日(840年2月10日)死去)王守澄ら、劉克明らを討ち帝位に就ける
827年1月31日-09:00|日本|大阪府河内長野市|天長4年|多度郡人俗姓佐伯氏の実恵、河内観心寺を開創
827年3月14日-08:00|中国| ||唐・太和1年2月13日|唐・文宗が大和(-835年12月)と改元
827年6月-01:00|チュニジア/イタリア| |||アガラ朝イスラム勢力がシチリアへの侵略を開始
827年6月17日-09:00|日本| ||天長4年5月20日|良岑安世ら「経国集」(勅撰漢詩集)撰上
827年7月10日-09:00|日本| ||天長4年6月13日|文章生選抜の制を旧に復す
827年8月8日-09:00|日本|京都府|天長4年7月12日|京都大地震、舎屋多くが倒壊
827年8月27日-01:00|パチン| |||<死去>第99代ローマ教皇「エウゲニウス2世」

0850迄 (1117件)

- 827年8月31日-01:00|バチカン| |||<就任>第100代ローマ教皇「ウァレンティヌス」(~08271010死去)
- 827年10月10日-01:00|バチカン| |||<死去>第100代ローマ教皇「ウァレンティヌス」
- 827年12月20日-01:00|バチカン| |||<就任>第101代ローマ教皇「グレゴリウス4世」(~08440125死去)
- 828年-06:30|ミャンマー| |||<即位>アラカン国王「サンダティン」(~843年)
- 828年-04:00|ジョージア| |||<即位>アブハジア王「テオドシウス2世」(~855年)
- 828年-03:30|イラン| |||<死去>ターヒル朝国王「タルハ・イブン・ターヒル」
- 828年-03:30|イラン| |||<即位>ターヒル朝国王「アブドゥッラー・イブン・ターヒル」ターヒル1世の子でタルハの弟(~845年死去)
- 828年-01:00|イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィア共和国第11代トリエステ(元首)「ジュスティニアノ・パルチパツィオ」(~829年)
- 828年-01:00|イタリヤ| |||<就任>トスカナ辺境伯「ホニファチョ2世」ホニファチョ1世の子(~834年)
- 828年-01:00|フランス| |||<就任>ホフティエ伯「Emenon」Bernard2世の兄弟(~839年)、「Renaud」(~843年死去)
- 828年 00:00|モロッコ| |||<死去>モロッコ国王(イトリス朝)「イトリス・イブン・イトリス(イトリス2世)」
- 828年 00:00|モロッコ| |||<即位>モロッコ国王(イトリス朝)「ムハンマド・イブン・イトリス」(~836年死去)
- 828年1月21日-09:00|日本|宮城県宮城郡松島町|天長5年|慈覚大師円仁、瑞巖寺「松島青龍山瑞巖円福禪寺」創建(伊達家菩提寺)<臨濟宗妙心寺派>
- 828年2月-01:00|スロベニア/ドイツ| |||カリシアがカランタニア・マーチ(マルカランタ)として併合され、バリエルに付属するフランク人の侯爵が支配
- 828年5月14日-09:00|日本|静岡県|天長5年閏3月27日|萩原王を射殺した罪により大中臣春継を伊豆に配流
- 828年8月5日-08:00|中国| ||唐・太和2年6月21日|?州刺史の王昇朝がそむき、処刑された
- 828年8月31日-08:00|中国| ||唐・太和2年7月17日|魏博節度使の史憲誠が同捷と平原で戦い、これを破った
- 828年9月3日-08:00|中国| ||唐・太和2年7月20日|彗星が右摂提に出現
- 828年9月28日-08:00|中国| ||唐・太和2年8月16日|王廷湊がそむいた
- 828年10月1日-08:00|中国| ||唐・太和2年8月19日|義武軍節度使の柳公済が王廷湊と新楽で戦い、これを破った
- 828年10月8日-08:00|中国| ||唐・太和2年8月26日|劉從諫がまた臨城で王廷湊を破った
- 828年10月10日-08:00|中国| ||唐・太和2年8月28日|史憲誠が李同捷と平原で戦い、これを破った
- 828年10月12日-08:00|中国| ||唐・太和2年8月30日|劉從諫が王廷湊と昭慶で戦い、これを破った
- 828年11月1日-08:00|中国| ||唐・太和2年9月20日|柳公済がまた王廷湊を博野で破った
- 828年11月8日-08:00|中国| ||唐・太和2年9月27日|安南軍が乱を起し、その都護の韓約を追放
- 828年11月18日-08:00|中国| ||唐・太和2年10月8日|史憲誠が李同捷と平原で戦い、これを破った
- 828年12月6日-09:00|日本| ||天長5年10月26日|<死去>勇山文継、官人、漢詩人(生年773年)
- 828年12月6日-08:00|中国| ||唐・太和2年10月26日|史憲誠が李同捷と平原で戦い、これを破った
- 828年12月10日-08:00|中国| ||唐・太和2年10月30日|幽州盧龍軍節度使の李載義がまた李同捷を長蘆で破った
- 829年-02:00|エジプト| |||<就任>アッハース朝エジプト第58代アミール「ウマイヤ・イブン・アルワリド」(~830殺害される)
- 829年-01:00|イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィア共和国第12代トリエステ(元首)「ジョヴァンニ・パルチパツィオ1世」(~836年)
- 829年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチア公「ミスラ」(~845年死去)
- 829年-01:00|クロアチア| |||ダルマチア、フィウメはクロアチア公国(⇒988年、王国)の一部
- 829年-01:00|フランス| |||パリ公会議で王権の義務を統一、王の職務は神の子たる人民を…
- 829年 00:00|イギリス| |||<廃位>マーシア王「ウイグルフ」
- 829年 00:00|イギリス| |||マーシアをウェセックスが統治(~830年)
- 829年1月9日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・憲徳王20年12月|新羅の大廉が唐から茶の種子を持ち帰り地理山に植える
- 829年1月22日-08:00|中国| ||唐・太和2年12月14日|魏博行營兵馬使のキ志沼がそむいた
- 829年1月23日-09:00|日本|種智院大学|天長5年12月15日|空海が京都の邸宅に庶民教育や学芸の教育を目的に「綜芸種智院」設置
- 829年2月8日-08:00|中国| ||唐・太和3年|<即位>ホクワン王「尉遲耶」(~843年)
- 829年2月26日-08:00|中国| ||唐・太和3年1月19日|宣武・河陽の兵がキ志沼を討ちキ志沼は鎮州に逃れた
- 829年4月7日-09:00|日本|奈良県高市郡明日香村|天長6年3月|飛鳥坐神社が鳥形山に遷座/おんだ祭りで有名
- 829年5月25日-08:00|中国| ||唐・太和3年4月19日|滄景節度使の李祐が德州を落とし、李同捷が降った
- 829年7月26日-09:00|日本| ||天長6年6月22日|<死去>平善棟、皇族(生年生年未詳)
- 829年7月30日-08:00|中国| ||唐・太和3年6月26日|魏博軍に乱があり、その節度使の史憲誠を殺し、都知兵馬使の何進滔が留後を自称
- 829年9月21日-09:00|日本| ||天長6年8月20日|<死去>光仁天皇皇女酒人内親王(76/桓武天皇妃、第21代伊勢斎王)
- 829年10月2日-02:00|トルコ| |||<死去>東ローマ帝国(アモリア朝)皇帝「ミカエル2世トラブラス」
- 829年10月2日-02:00|トルコ| |||<即位>東ローマ帝国(アモリア朝)皇帝「テオフィロス」ミカエル2世の子(~08420120死去)
- 829年11月30日-08:00|中国| ||唐・太和3年11月|この月、雲南蛮がスイキョウの二州を陥落させた
- 830年-04:00|ジョージア| |||<再任>イベリア公「バグダット1世」(~876年死去)、「アダルネセ2世」(~870年)、「カラム」
- 830年-03:00|イラク| |||カリフのマムーンがバグダットに「知恵の家」を建設
- 830年-02:00|エジプト| |||<就任>アッハース朝エジプト第60代アミール「イブン・ヤシド・アルジュルティ」(~830)→同年<就任>第61代アミール「アブドゥヤ・イブン・ガバラ」(~831解任)
- 830年-01:00|フランス| |||<就任>アムボワーズ伯「William」(~834年死去)
- 830年-01:00|チェコ/スロバキア/ハンガリー| |||<即位>大モラヴィア公(モイミール朝)「モイミール1世」西スラブ族が建国(~846年8月死去)
- 830年 00:00|イギリス| |||<即位>ケリウイシグ王「Rhys ap Ithael」(~840年)

0850迄(1117件)

- 830年 00:00|イギリス| |||<復位>マシア王「ウイグ ラフ」(2期目~839年死去)
830年 06:00|グアテマラ| |||マヤのペテン地域で非マヤ的なオレンジ 土器が出現
830年1月2日-08:00|中国| ||唐・太和3年12月4日|雲南蛮が成都を寇し、右領軍衛大將軍の董重質が左右神策及諸道行營西川都知兵馬使となってこれを討伐
830年1月11日-08:00|中国| ||唐・太和3年12月13日|雲南蛮が梓州を寇した
830年1月14日-08:00|中国| ||唐・太和3年12月16日|雲南蛮が蜀州を寇した
830年1月28日-09:00|日本| 埼玉県川越市|天長7年|無量寿院創建(→喜多院)<天台宗>
830年1月28日-08:00|中国| ||渤海・建興12年|<死去>渤海国王「宣王大仁秀」
830年1月28日-08:00|中国| ||渤海・建興12年|<即位>渤海国王「大彝震」(~咸和27年(857年)死去)
830年1月30日-09:00|日本| 秋田県|天長7年1月3日|出羽で地震/秋田城郭官舎、四天王寺六仏像、四王堂舎など倒壊/死者15人
830年3月8日-08:00|中国| ||唐・太和4年2月10日|興元軍に乱があり、その節度使の李絳を殺した
830年4月29日-08:00|中国| ||唐・太和4年4月3日|奚が辺境を寇し、李載義がこれを破った
830年9月16日-09:00|日本| 京都府京都市|天長7年8月26日|冷然院に寝殿を増築
830年10月26日-09:00|日本| ||天長7年10月7日|「新撰格式」を撰上
830年12月5日-09:00|日本| ||天長7年11月17日|神祇・八省・弾正・左右京・東宮・勘解由・六衛・左右兵庫格式を頒行
831年-05:30|インド| |||<即位>チャンドラ朝国王「Nannuka」(~845年)
831年-02:00|エジプト| |||<就任>アッハース朝エジプト第62代アミール:イ・イブン・マンスール(~832解任)
831年-02:00|ブルガリア| |||<即位>ブルガリア帝国ハン「マリス」(~836年)
831年-01:00|フランス| |||<就任>ノット伯「Ricwin」(~8410625死去)
831年-01:00|フランス| |||<即位>メヌ公「ヒピン1世」(~8381213死去)
831年-01:00|イタリヤ/イラク| |||イスラムによりパルメ陥落
831年2月16日-09:00|日本| ||天長8年|滋野貞主ら「秘府略千卷」(日本最古の類書)撰上
831年2月16日-08:00|中国| ||渤海・咸和1年|渤海の大彝震が咸和(-857年)と改元
831年3月8日-08:00|中国| ||唐・太和5年1月21日|幽州盧龍軍が乱を起こし、その節度使の李載義を追放し、莫州刺史の張慶初を殺し、兵馬使の楊志誠が留後を自称
831年6月-01:00|チュニジア/イタリヤ| |||アグラフ朝軍イスラムがシリアのパルメを占領
832年-06:30|ミャンマー| |||雲南のチベット・ビルマ族の国の南詔がビルマに勢力を拡大、ビルマのタレクワ王朝を滅ぼす
832年-02:00|エジプト| |||<就任>アッハース朝エジプト第63代アミール:キター・ナス・イブン・アブ・ダラー(~834)
832年-01:00|イタリヤ| |||<死去>ホリ公「ステファン3世」
832年-01:00|スペイン| |||<就任>アンブリアス伯・パルメト伯・ルシオン伯「ヘランジュ賢伯」トゥールズ伯(~835. 6)
832年-01:00|フランス| |||<就任>メヌ伯「パンス・レイブス」(~同年)⇒「ロゴン1世」(~8390616死去)
832年-01:00|イタリヤ| |||<即位>ホリ公「ホーナス」(~834年)
832年-01:00|イタリヤ| |||<即位>ベネヴェント大公「シード」(~839年死去)
832年-01:00|フランス| |||アインハルトが「カール大帝伝」を完結
832年2月-02:00|エジプト/イラク| |||マムーンがエジプトに遠征し、キリスト教徒の反乱を鎮圧
832年5月1日-08:00|中国| ||唐・太和6年3月27日|<死去>回鶻可汗国第11代可汗「昭礼可汗(曷薩特勤)アイ・テングリフ・クト・ホルミシュ・アルフ・ビルケ・カガン」配下に殺される
832年5月1日-08:00|中国| ||唐・太和6年3月27日|<即位>回鶻可汗国第12代可汗「彰信可汗(胡特勤)アイ・テングリフ・クト・ホルミシュ・アルフ・キュリュク・ビルケ・カガン」(~839年)
832年5月14日-09:00|日本| 京都府京都市北区|天長9年4月11日|淳和天皇、紫野院を雲林院と改称
832年6月12日-09:00|日本| 兵庫県明石市|天長9年5月11日|清原夏野、私財を投じて播磨国魚住泊を築く
832年7月31日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・興徳王7年7月|大雨で凶作となり餓えた民衆が盗賊となって蜂起
833年-08:00|インドネシア| |||<死去>シャイレンドラ朝国王「サマラウンガ」
833年-08:00|インドネシア| |||<即位>シャイレンドラ朝国王「フラムーダ・ウアルダニ」(~850年):「ハ・ラプトラ・デワ」(~860年)
833年-05:30|インド| |||<即位>プラーティハール朝国王「ラマバドラー」(~836年)
833年-01:00|スペイン| |||<就任>アラゴン伯「ガリント・ガルス」ガルシア・エル・マロの息子(~844年)
833年-01:00|フランス| |||<就任>ヴェルマントウ伯「Hugh」(~844年)、「Adalard」(~864年)
833年-01:00|チェコ/スロバキア/ハンガリー| |||<即位>ニトラ公「ラスチスラフ」(~846年8月)
833年 00:00|アイルランド| |||<即位>アイルランド 上王「ニール・カイ・マック・アエダ」(~846年没)
833年3月9日-09:00|日本| ||天長10年2月15日|清原夏野らが5年の歳月をかけた養老令の官撰注釈書「令義解」が完成
833年3月22日-09:00|日本| ||天長10年2月28日|<受禪>皇太子正良親王/3月6日、54代仁明天皇として即位
833年3月22日-09:00|日本| ||天長10年2月28日|<譲位>第53代淳和天皇
833年6月30日-01:00|フランス| |||フランク王ルイ1世(敬虔王、ルトウイ1世)、ジャン・デ・マンソージュで王子たちに捕縛され降伏
833年8月7日-03:00|イラク| |||<死去>バグダード・アッハース朝第7代カリフ「マムーン」
833年8月9日-03:00|イラク| |||<即位>バグダード・アッハース朝第8代カリフ「ムタスィム」(~08420105死去)
833年10月1日-01:00|フランス| |||<廃位>フランク王「ルイ1世(敬虔王、ルトウイ1世)」長子ロタルにより
834年-02:00|エジプト| |||<就任>アッハース朝エジプト第64代アミール:モサファー・イブン・キター(~834)→<就任>第65代アミール:モサファー・イブン・アブ・アルアッハース(~839)
834年-01:00|イタリヤ| |||<死去>スペレート公「アデルキス1世」

0850迄 (1117件)

- 834年-01:00|アンドラスペイン| |||<就任>ウルグエイ伯・サルダニャ伯「Sunifred1世」(~848年)
834年-01:00|フランス| |||<就任>シャトダン伯「William」ブワ伯(~同年死去)⇒ブワ伯「ウート1世」(~865年)兼シャトダン伯(~8710610死去)
834年-01:00|フランス| |||<就任>フランク王国ゲルマントワ伯「Pepin2世」(~850年)
834年-01:00|イタリヤ| |||<即位>ナリ公「レオ」⇒「アンドリュ2世」(~840.3殺される)
834年 00:00|イギリス| |||<死去>ヒクト王「Oenghus mac Ferghusa (Angus2世)」
834年 00:00|イギリス| |||<即位>ヒクト王「Drest mac Causantin (Drest9世)」(~836年死去)
834年2月12日-09:00|日本| 滋賀県犬上郡甲良町|天長11年|三修上人、西明寺創建<天台宗>
834年2月14日-09:00|日本| |||承和1年1月3日|天長から承和に改元
834年3月1日-01:00|フランス| |||<復位>フランク王ルイ1世(敬虔王、ルトウイ1世)
834年3月10日-09:00|日本| |||承和1年1月27日|検非違使別当を設置
834年3月14日-08:00|中国| |||唐・太和8年2月1日|朔、日食があった
834年3月26日-09:00|日本| |||承和1年2月13日|<死去>桓武天皇皇子明日香親王(母:紀若子)
834年5月31日-09:00|日本| |||承和1年4月20日|紀伝博士を廃止/文章博士を一名増員
834年6月29日-09:00|日本| |||承和1年5月19日|<任命>鎮守府将軍「物部匠璉熊猪」(~不詳)
834年8月-01:00|イタリヤ| |||<即位>スレート公「ランベルト」(~836年死去)
834年9月28日-09:00|日本| 京都府京都市|承和1年8月22日|暴風雨の為、京中の民家が多数倒壊
834年10月9日-08:00|中国| |||唐・太和8年9月3日|彗星が太微に出現
834年11月8日-08:00|中国| |||唐・太和8年10月4日|幽州盧龍軍の大將の史元忠がその節度使の楊志誠を追放し、
権句当節度兵馬を自称
835年-08:00|インドネシア| |||シュリウイジャ王国(スマタラ島のパレンバンを中心に栄えた通商国家)後継者争いに破れたシャ
レントラ家の王子パワトラがスマタラ島に逃れ、シュリウイジャの王女と結婚して同国の王統を継ぎ、「マハーラジャ(大王
)」を称した
835年-06:30|ミャンマー| |||ビルマでモン族のペーグ王国が興る
835年-01:00|イタリヤ| |||<就任>トスカナ辺境伯「アガノ」(~845年)
835年-01:00|フランス| |||<就任>ホウティエ伯「Ranulph1世」(~866年死去)
835年 00:00|イギリス| |||<死去>ドムナリ王「Domhnall mac Caustantin」
835年 00:00|イギリス| |||<即位>ドムナリ王「Aedh mac Boanta」(~839年死去)
835年1月2日-08:00|中国| |||唐・太和8年11月30日|莫州軍が乱を起こし、その刺史の張惟汎を追放
835年1月7日-09:00|日本| |||承和1年12月5日|「令義解」を施行
835年2月2日-09:00|日本| 長崎県壱岐市|承和2年|新羅人の来航に備え、壱岐島内を防人330人に守らせる
835年2月23日-09:00|日本| |||承和2年1月22日|承和昌宝を鑄造
835年4月22日-09:00|日本| |||承和2年3月21日|<死去>弘法大師(空海)/62歳(誕生:宝亀5(774)0615)真言宗開祖
835年6月-01:00|スペイン| |||<再任>バルセロナ伯「セプティミアニア辺境伯「バルト」」(~844年死去)
835年6月-01:00|フランス| |||<死去>トケルズ伯「ヘランジエ賢伯」
835年6月-01:00|スペイン| |||<就任>アンブリアス伯「Sunyer1世」(~841年)
835年6月-01:00|フランス| |||<就任>トケルズ伯「バルナルト・セプティマニー」ギヨム・ド・ジエロヌの子(~842年廃位);バルセ
ロナ伯(~844年)
835年7月31日-09:00|日本| |||承和2年7月3日|諸国の守・介の任期を4年とする/但し大宰府・陸奥・出羽に関して
は変わらず
835年12月14日-08:00|中国| |||唐・太和9年11月21日|唐・宰相李訓らが宦官を集め抹殺しようと図るが失敗(甘
露の変)李訓は鳳翔に逃れた
836年-08:00|中国| |||<死去>吐蕃国王ティツク・デツェン
836年-08:00|中国| |||<即位>吐蕃国王ランタルマ(~842年)
836年-05:30|インド| |||<建国>アヴァスタル国(⇒後にバルフ国)
836年-05:30|インド| |||<即位>プラーティハハラ朝国王「ホージャ1世」(~885年死去)
836年-03:00|イラク| |||アッハース朝8代カリフのムタシムがサマッラへ遷都
836年-02:00|ブルガリア| |||<即位>ブルガリア帝国ハン「プレシアン1世」(~852年死去)
836年-01:00|イタリヤ| |||<死去>スレート公「ランベルト」
836年-01:00|イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィア共和国第13代ドージェ(元首)「ピエトロ・トラニコ」(~08640913死去)
836年-01:00|イタリヤ| |||<即位>スレート公「ベレンガー」(~841年)
836年 00:00|イギリス| |||<死去>ヒクト王「Drest mac Causantin (Drest9世)」
836年 00:00|モロッコ| |||<死去>モロッコ国王(イドリス朝)「ムハンマド・イブン・イドリス」
836年 00:00|イギリス| |||<即位>ヒクト王「Eogan mac Oenghusa」(~839年死去)
836年 00:00|モロッコ| |||<即位>モロッコ国王(イドリス朝)「アリー・イブン・イドリス」(~849年死去)
836年1月22日-08:00|中国| |||唐・開成1年1月1日|朔、日食があった
836年1月22日-08:00|中国| |||唐・開成1年1月1日|唐・文宗が開成(-840年12月)と改元
836年8月16日-09:00|日本| |||承和3年7月|遣唐使船全船遭難、肥前国など九州各地に漂着/第3船が最も悲惨で
対馬沖で遭難し船体が崩壊したとみられ判官の丹?文雄(多治比文雄)以下100余人が死亡
837年-01:00|フランス| |||<死去>カカソヌ伯・コンフラン伯「Oliba1世」
837年-01:00|フランス| |||<就任>カカソヌ伯「バルナルト・セプティマニー」トケルズ伯・バルセロナ伯(~844年死去)
837年-01:00|ニジェール| |||<即位>ソンガイ王国国王「アヤマン」建国(~849年頃)

0850迄 (1117件)

837年1月11日-09:00|韓国| ||新羅・僖康王1年12月|<死去>新羅王「興徳王」
837年1月11日-09:00|韓国| ||新羅・僖康王1年12月|<即位>新羅王「僖康王」(~838. 1自殺)
837年3月22日-08:00|中国| ||唐・開成2年2月12日|彗星が東方に出現
837年4月9日-09:00|日本| ||承和4年3月|彗星東南に現れる
837年5月8日-09:00|日本| ||承和4年4月|<任命>鎮守府将軍「匠瑳末守」(~不詳)
837年7月20日-08:00|中国| ||唐・開成2年6月14日|河陽軍が乱を起こし、その節度使の李泳を追放
837年8月-04:00|アゼルバイジャン/イラク| ||アッバース朝軍がアゼルバイジャンのバーバクを討伐
837年8月2日-08:00|中国| ||唐・開成2年6月27日|綿州のリョウがそむいた
837年8月6日-08:00|中国| ||唐・開成2年7月2日|党項羌が振武を寇した
837年12月18日-08:00|中国| ||唐・開成2年11月17日|隕石が興元に落ちた
838年-08:00|インドネシア| ||<即位>古マタラム王国・シャイレントラ朝国王「ライ・ヒ・カソン」シャイレントラ朝のサマラトゥンガの娘ラモダガアルダニと結婚し、シャイレントラ朝の王となる(~850年)
838年-01:00|イタリヤ| ||ロンゴバルドによるアマルフィ占領
838年1月10日-09:00|日本| 京都府京都市|承和4年12月11日|大風の為、京中の民家の屋舎が多数倒壊
838年1月30日-09:00|日本| 長崎県壱岐市|承和5年|新羅商人の往来に備え、壱岐島に弩師を置く
838年1月30日-08:00|中国| ||唐・開成3年|<死去>吐蕃ツェンポ「テツク・テツェン(赤祖徳贊)」
838年1月30日-08:00|中国| ||唐・開成3年|<即位>吐蕃ツェンポ「ラン・ダルマ(朗達瑪)」(~842年死去)
838年1月30日-09:00|韓国| ||新羅・僖康王3年1月|<死去>新羅王「僖康王」金明・利弘らが軍を起こして王の側近の貴族を殺害する反乱により宮中で首をくくって自殺
838年1月30日-09:00|韓国| ||新羅・僖康王3年1月|<即位>新羅王「閔哀王」(~08390119殺害される)
838年3月30日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・閔哀王1年3月|張保臯のもとに集結した祐徵らの一派が軍事活動を起こし祐徵派の金陽が武州を下してさらに南原小京を陥落させた
838年6月10日-01:00|チュニジア| ||<死去>アグラ朝「ス・ヤダ・アラフ1世」
838年6月10日-01:00|チュニジア| ||<即位>アグラ朝「アル・アグラム」(~841年)
838年7月29日-09:00|日本| ||承和5年7月5日|第17次遣唐使派遣/藤原常嗣、菅原善主、長岑高名、藤原貞敏、菅原梶成
838年11月11日-08:00|中国| ||唐・開成3年10月21日|彗星が軫に出現
838年11月12日-09:00|日本| ||承和5年10月22日|ハル彗星が現れる/天皇は写経を命令(~11月中旬)
838年12月13日-01:00|フランス| ||<死去>アキテヌ王・メヌ公「ピピン1世」
838年12月13日-01:00|フランス| ||<即位>アキテヌ王(カロリング朝)「ピピン2世」ピピン1世の子(~864年);「シャルル2世」西フランク王、対立王(~855年)
838年12月13日-01:00|フランス| ||<即位>メヌ公「シャルル禿頭公」(~851年)
838年12月21日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・閔哀王1年12月|金陽が武州鉄冶県まで軍を進めたところで王は金敏周を派遣して迎撃したが金陽軍の前に壊滅
839年-02:00|エジプト| ||<就任>アッバース朝エジプト第66代アミール・マク・イブン・カタ(~841)
839年-01:00|アンドラ/スペイン| ||<死去>ウルジェイ伯・サルターニャ伯「Aznar1世がリンド」
839年-01:00|イタリヤ| ||<死去>ベネチント大公「シード」暗殺される
839年-01:00|フランス| ||<就任>オーベルニュ伯「Gerard」(~8410625死去)
839年-01:00|イタリヤ| ||<即位>ベネチント大公「テルチス1世」(~851年死去)
839年 00:00|イギリス| ||<死去>ダリア王「Aedh mac Boanta」
839年 00:00|イギリス| ||<死去>ヒコ王「Eogan mac Oenghusa」
839年 00:00|イギリス| ||<死去>マーン王「ウイガラ」
839年 00:00|イギリス| ||<即位>ヒコ王「Feradach mac Bargoit」(~842年死去)
839年 00:00|イギリス| ||<即位>マーン王摂政「Alfflad」(~同年)⇒王「Beorhtwulf」(~852年死去)
839年 00:00|イギリス| ||ダリア沿岸を北欧が統治
839年 00:00|アイルランド| ||トルギス率いる北欧ヴァイキングがダブリンを占領(~845年)
839年1月4日-09:00|日本| ||承和5年12月15日|遣唐使船への乗船拒否を咎められ小野篁を隠岐国に配流
839年1月19日-08:00|中国| ||唐・開成4年|<死去>回鶻可汗国第12代可汗「彰信可汗(胡特勤)アイ・テングリデ・クト・ホルミシュ・アルフ・キュリク・ヒルケ・カゴン」沙陀族に攻められ自殺
839年1月19日-08:00|中国| ||唐・開成4年|<即位>回鶻可汗国第13代可汗「コウツ特勤」(~840年)
839年1月19日-09:00|日本| ||承和6年1月|彗星兌方に見える。長さおよそ1丈
839年2月4日 00:00|イギリス| ||<死去>イングランド王国国王・ウエックス王「エグバート」兼ケント王「エグバート3世」(64歳)
839年2月5日 00:00|イギリス| ||<死去>ウエックス王「エグバート・Ealhmundes sunu」
839年2月5日 00:00|イギリス| ||<死去>ケント王「Athelwulf Ecgbearhtes sunu(Ecgbearht3世)」
839年2月5日 00:00|イギリス| ||<即位>ウエックス王「Athelwulf Ecgbearhtes sunu」(~08580113死去)
839年2月5日 00:00|イギリス| ||<即位>ケント王「Athelstan Athelwulfes sunu」(~855年死去)
839年2月6日-09:00|韓国| ||新羅・閔哀王2年1月19日|<死去>新羅王「閔哀王」金陽軍の兵士に殺害される
839年2月6日-09:00|韓国| ||新羅・閔哀王2年1月19日|<即位>新羅王「神武王」(~7. 23死去)
839年2月7日-08:00|中国| ||唐・開成4年1月20日|彗星が羽林に出現
839年3月12日-08:00|中国| ||唐・開成4年閏1月23日|彗星が巻舌に出現
839年5月20日-09:00|日本| ||承和6年4月4日|<死去>仁明天皇女御藤原沢子(光孝天皇生母)
839年6月16日-01:00|フランス| ||<死去>メヌ伯「ロゴン1世」

0850迄 (1117件)

- 839年6月16日-01:00|フランス| |||<就任>メヌ伯「ガズバート」(~849年)
839年7月28日-09:00|日本|京都府京都市南区|承和6年6月15日|東寺講堂諸仏、開眼供養
839年8月13日-09:00|韓国/中国| ||新羅・神武王1年7月|新羅・神武王が唐に対して使者を派遣
839年9月-03:30|イラン| |||<死去>カリガント王朝・ハバント朝太守「Karenid Mazyar」
839年9月-03:30|イラン| |||<即位>カリガント王朝君主「Quhyar」(~同年)
839年9月-03:30|イラン| |||<即位>ハバント朝太守「Qarin1世」(~867年死去)
839年9月4日-09:00|韓国| ||新羅・神武王1年7月23日|<死去>新羅王「神武王」病死
839年9月4日-09:00|韓国| ||新羅・神武王1年7月23日|<即位>新羅王「文聖王」(~857.9死去)
839年12月14日-09:00|日本|三重県伊勢市|承和6年11月5日|伊勢斎宮で火災/官舎一百余宇を焼失
840年-05:00|キルギス/ウズベキスタン/中国| |||<即位>カラハ朝ハン「キュル・ビルク・ハン」(~893年)
840年-04:00|オマーン| |||<即位>オマーン(元首)イマム:アルムハンマ・ビン・シヤイフ
840年-03:30|イラン| |||<即位>テュラフト王朝国王「Abd al-Aziz ibn Abu Dulaf」(~874年)
840年-01:00|フランス| |||<就任>ピゴール伯「Donatus Lupus1世」
840年-01:00|フランス| |||<就任>ホワティエ伯「Bernard2世」(~844.2死去)
840年-01:00|イタリヤ| |||<即位>カファ公「ランダル1世イル・ベヒノ」(~843年)
840年-01:00|イタリヤ| |||<即位>サルノ公「シナル」(~851年)
840年-01:00|ノルウェー| |||<即位>ハエストフォルド王「Halvdan Gudrodsson "Svarte"」(~863年)
840年 00:00|イギリス| |||<即位>ケリウイシング王「Hywel ap Rhys」(~886年)
840年2月7日-08:00|中国| ||唐・開成5年|<死去>回鶻可汗国第13代可汗「コウツ特勤」渠長の句録莫賀に殺される(ウイグルの崩壊)
840年2月7日-08:00|中国| ||南詔・天啓1年|南詔の勸豊祐が天啓(-859年)と改元
840年2月10日-08:00|中国| ||唐・開成5年1月4日|<死去>唐第17代皇帝「文宗李昂」(33)
840年2月20日-08:00|中国| ||唐・開成5年1月14日|<即位>唐第18代皇帝「武宗李湊」(~会昌6年3月23日(846年4月22日)死去)
840年3月-01:00|イタリヤ| |||<死去>ナホリ公「アントリュ2世」殺される
840年3月-01:00|イタリヤ| |||<即位>ナホリ公「コンタルス」⇒「セルギウス1世」(~864年死去)
840年3月7日-09:00|日本| ||承和7年1月30日|<任命>鎮守府將軍「御春浜主」(~不詳)
840年3月20日-08:00|中国| ||唐・開成5年2月13日|彗星が室・壁に出現
840年3月21日-09:00|日本| ||承和7年2月14日|小野篁、罪を許され隠岐国より帰京
840年5月26日-09:00|日本| ||承和7年4月22日|改正格式を施行
840年6月11日-09:00|日本| ||承和7年5月8日|<死去>第53代淳和上皇/55歳(誕生:延暦5(786))
840年6月20日-01:00|ドイツ/フランス/オーストリア/イタリヤ| |||<死去>フランク・ロマ皇帝「ルトヴィヒ1世敬虔王」(誕生778年)帝国は3年間で戦状態に陥った
840年10月29日-08:00|中国| ||唐・開成5年10月1日|回鶻が天徳軍を寇した
840年12月3日-08:00|中国| ||唐・開成5年11月6日|彗星が東方に出現
841年-05:00|ウズベキスタン| |||<死去>サマ朝(サマルカント)アミール「Nuh ibn Asad」
841年-02:00|エジプト| |||<就任>アハース朝エジプト第67代アミール:アリ・ヒン・ヤヤ・アルアルマニ(~843解任)
841年-01:00|スペイン| |||<就任>アンブリアス伯「Alaric1世」(~844年)
841年-01:00|フランス| |||<就任>ナント伯「Renaud」(~843年死去)
841年-01:00|フランス| |||<就任>パリ伯「ルター2世」(~858年)
841年-01:00|チュニジア| |||<即位>アグラ朝「ムハンマド1世」(~856年死去)
841年-01:00|イタリヤ| |||<即位>バトリ首長国アミール「Kal fun」(~852年)
841年-01:00|フランス| |||<即位>アルターニ公「ノミエ(ネ)」「ガンス伯/アルターニのケルト人が建国」(~851.3死去)
841年 00:00|アイルランド| |||ノルマン人がアイルランドでダブリンを建設
841年1月15日-09:00|日本| ||承和7年12月19日|藤原緒嗣ら「日本後記」を撰上
841年1月27日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・文聖王3年|新羅、張保臯(宝高)の乱起こる
841年1月27日-08:00|中国| ||唐・會昌1年|<即位>回鶻可汗国亡命政権初代可汗「烏介可汗」(~846年)
841年2月4日-08:00|中国| ||唐・會昌1年1月9日|唐の文宗が會昌(-846年12月)と改元
841年3月9日-09:00|日本|長野県|承和8年2月13日|信濃で地震。一夜に14回揺れ、公私の塙屋(塙は垣根)倒壊
841年6月25日-01:00|フランス| |||<死去>オーベルニュ伯「Gerard」
841年6月25日-01:00|フランス| |||<死去>ナント伯「Ricwin」
841年6月25日-01:00|フランス| |||<就任>オーベルニュ伯「William1世」(~846年)
841年6月25日-01:00|ベルギー-/フランス/ドイツ| |||故ルイ1世(敬虔王、ルトヴィヒ1世)の長男カール1世が「フランク王国」中部に軍を派遣し、これに対抗した故ルイ1世の3男「東フランク王」ルトヴィヒ2世と4男「西フランク王」シャルル(後のシャルル2世禿頭王)の間で「フォントワの戦い」(現ベルギー)が起こり、カール1世が敗れる
841年7月3日-09:00|日本| ||承和8年6月11日|<死去>正道王、皇族(生年821年)
841年7月22日-08:00|中国| ||唐・會昌1年7月|彗星が羽林に出現
841年7月22日-09:00|日本|静岡県|承和8年7月1日|伊豆で地震。里落完からず。圧死者あり
841年7月27日-09:00|日本|京都府京都市|承和8年7月6日|左兵衛府駕輿丁西北角より失火、民家30余戸焼く
841年9月19日-09:00|日本|京都府京都市|承和8年9月1日|洪水の為、京中の民家及び橋梁が流失
841年12月17日-09:00|日本| ||承和8年11月|彗星西方に見える
841年12月22日-08:00|中国| ||唐・會昌1年11月6日|彗星が宮室に出現

0850迄 (1117件)

- 842年-01:00|スペイン| |||<死去>アストゥリアス王「アルフォンソ2世純潔王」
- 842年-01:00|フランス| |||<就任>トゥールーズ伯「アクフリド」(~843年)
- 842年-01:00|スペイン| |||<即位>アストゥリアス王「レノワノ」王位を篡奪(同年ラミ-01世と後継を争い、敗れる)⇒「ラミ-01世」(~8500201死去)
- 842年-01:00|イタリア| |||<即位>スレート公「ガイ1世」(~860年死去)
- 842年-01:00|フランス| |||<廃位>トゥールーズ伯「ベルナルド・セプティマーニ」
- 842年 00:00|イギリス| |||<死去>ヒケト王「Feradach mac Bargoit」
- 842年 00:00|イギリス| |||<即位>グウェント王「Ithel ap Hywel」(~848年)
- 842年 00:00|イギリス| |||<即位>スコットランド王「Bruide mac Feradaidh」反乱側(~843年死去)
- 842年 00:00|イギリス| |||<即位>スコットランド王「Cinaedh mac Ailpin(ケネ1世征服王)」(~08580213死去)スコット人・ヒケト人の連合王国(オルバ王国)建国し(アルピン朝)西部のダングスターツからヒケト人の本拠スキャンに首都を移した
- 842年1月5日-03:00|イタリ| |||<死去>バグダート・アッバース朝第8代カリフ「ムタシム」
- 842年1月5日-03:00|イタリ| |||<即位>バグダート・アッバース朝第9代カリフ「ワスィク」(~08470810死去)
- 842年1月16日-09:00|日本/朝鮮/中国| ||渤海・咸和11年12月|渤海使賀福延ら105人が1長門国に到着
- 842年1月20日-02:00|トルコ| |||<死去>東ローマ帝国(アリア朝)皇帝「テオフィロス」
- 842年1月20日-02:00|トルコ| |||<即位>東ローマ帝国皇帝(アリア朝)「ミカエル3世メソイヌ(飲んだくれ・酔っ払い・酪酊帝)」テオフィロスの子(~08670923死去)母テオドラと宦官のテオクティストに実権を握られる
- 842年2月2日-09:00|日本| ||承和8年12月19日|藤原緒嗣ら、「日本後紀」撰上
- 842年2月14日-08:00|中国| ||唐・會昌2年|<死去>吐蕃ツェンポ「ラン・ダルマ(朗達瑪)」暗殺される(吐蕃の分裂)
- 842年2月14日-08:00|中国| ||唐・會昌2年|特勤可没斯、阿歴支、習勿啜の3部、大臣の愛邪勿弘順、尚書呂衡ら、振武軍に投降
- 842年2月14日-01:00|フランス/ドイツ| |||「東フランク王」ルートヴィヒ2世と「西フランク王」シャルル(後のシャルル2世禿頭王)、ロターール1世に對抗して同盟を強化(ストラブールの宣誓)
- 842年2月17日-08:00|中国| ||唐・會昌2年1月4日|回鶻が横水柵を寇し、天徳・振武軍を攻略
- 842年4月15日-08:00|中国| ||唐・會昌2年3月|回鶻が雲州・朔州を寇した
- 842年6月14日-08:00|中国| ||唐・會昌2年5月2日|回鶻のオ没斯が降った
- 842年6月15日-01:00|フランス/ドイツ| |||「東フランク王」ルートヴィヒ2世、「西フランク王」シャルル(後のシャルル2世禿頭王)、ロターール1世の3人、フランス中央東部のマコン(リヨンの北)で和平を結ぶ
- 842年7月12日-08:00|中国| ||唐・會昌2年6月|河東節度使の劉ヘンが回鶻と雲州で戦い、敗れた
- 842年8月10日-08:00|中国| ||唐・會昌2年秋|幽州節度使・張仲武、弟の張仲至を派遣して那頡啜を破り、7千帳を接收/那頡啜は烏介可汗に捕まり、殺される
- 842年8月10日-08:00|中国| ||唐・會昌2年7月|回鶻可汗が大同川を寇した
- 842年8月10日-08:00|中国| ||唐・會昌2年7月|嵐州の民の田満川がそむき、処刑された
- 842年8月24日-09:00|日本| ||承和9年7月15日|<死去>嵯峨上皇/57歳(誕生:延暦5(786)0907)52代天皇・嵯峨天皇
- 842年8月26日-09:00|日本| ||承和9年7月17日|伴健岑・橘逸勢らを謀反のかどで逮捕(承和の変)
- 842年8月28日-09:00|日本| 京都府京都市|承和9年7月19日|左京工町失火、民家20戸焼く
- 842年9月6日-09:00|日本| ||承和9年7月28日|伴健岑を隠岐国に、橘逸勢を伊豆国に流罪
- 842年9月20日-09:00|日本| ||承和9年8月13日|<死去>橘逸勢、伊豆国配流の途上の遠江国板築駅で/平安初期の貴族・書家/三筆の一人
- 842年10月8日-08:00|中国| ||唐・會昌2年9月|屈戌、雲麾將軍・守右武衛將軍・幽州節度使・員外置同正員を拝し、契丹王・耶瀾可汗と称す
- 842年11月27日-09:00|日本| ||承和9年10月22日|<死去>平城天皇皇子阿保親王(51/母:葛井藤子、在原行平・業平の父)
- 843年-06:30|ミャンマー| |||<即位>アラン国王「ミン・イン・ビユ」(~873年)
- 843年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプura王国王「Aggabodhi 9世」Dappula 3世の息子(~846年)
- 843年-02:00|エジプト| |||<就任>アッバース朝エジプト第68代アミール:イサ・イブン・マンスール(~847)
- 843年-01:00|フランス| |||<死去>ナント伯・ボワティエ伯「Renaud」
- 843年-01:00|イタリア| |||<就任>カプア公「ランド1世」ランダルフ1世の息子(~861年死去)
- 843年-01:00|フランス| |||<就任>ナント伯「Lambert 2世」(~846年)
- 843年-01:00|イタリア| |||イスラムによりメッシーナ陥落
- 843年 00:00|イギリス| |||<死去>スコットランド王「Bruide mac Feradaidh」反乱側
- 843年 00:00|イギリス| |||<即位>スコットランド王「Cinaedh mac Feradaigh」反乱側(~844年死去)
- 843年 00:00|イギリス| |||<即位>ヒケツ王「Ciniod 2世」⇒「Bridei 7世」(~845年)
- 843年1月23日-01:00|アンドラ/フランス| |||アンドラはフランク王によって封建領地としてウルゲル伯シクリドゥス(スクリッド)に譲渡
- 843年2月3日-08:00|中国| ||唐・會昌3年|仏教への過度の傾注をめぐって吐蕃の王家が分裂
- 843年2月13日-08:00|中国| ||唐・會昌3年1月11日|天徳軍行營副使の石雄が回鶻と殺胡山で戦い、これを破った
- 843年3月-02:00|トルコ| |||ビザンティン帝国でミカエル3世が聖画像崇拜禁止令を解除
- 843年3月5日-08:00|中国| ||唐・會昌3年2月|河東節度使・劉湏、幽州の境界から80里の地点で幕営していた烏介可汗を襲撃、烏介可汗は黒車子室韋に逃げる
- 843年3月5日-08:00|中国| ||唐・會昌3年2月1日|朔、日食があった

0850迄 (1117件)

- 843年6月24日-01:00|フランス| |||ヴァイキング、フランス西部のナントを占領
- 843年8月-01:00|モロコシ| |||モロコシはマリンギアの一部 (~879年)
- 843年8月10日-01:00|オーストリア/フランス/ドイツ/イタリア/スロベニア| |||ヴェルダン条約締結:フランク王国がルートヴィヒ敬虔帝の3子に分割/ロタール1世は皇帝の称号とイタリアを保持,新たに中フランク王国を建設(領域は低ロレーヌ、アヘンを含むラインラント、ブルグンディヤ、フランク王国を含むイタリアから北海に及ぶ)/シャルル1世はピピン1世の息子であるピピン2世が対立しているアキテーヌの地を確保し西フランク王国を建国/ルートヴィヒ2世はバリエルを確保し東フランク王国を建国
- 843年8月11日-01:00|フランス| |||<即位>西フランク王「シャルル2世禿頭王」(~08771006死去)
- 843年8月11日-01:00|フランス/イタリア| |||<即位>中フランク王国国王「ロタール1世」ルートヴィヒ1世の長男 (~08550929)
- 843年8月11日-01:00|ドイツ| |||<即位>東フランク王「ルートヴィヒ2世」ルートヴィヒ敬虔帝の息子、カール大帝の孫 (~08760828死去)
- 843年10月27日-08:00|中国| ||唐・會昌3年10月|この月、党項羌が塩州を寇した
- 843年11月9日-08:00|中国| ||唐・會昌3年10月14日|晋絳行營節度使の石雄が劉訢と烏嶺で戦い、これを破った
- 843年11月25日-08:00|中国| ||唐・會昌3年11月|安南軍が乱を起こし、その経略使の武渾を追放
- 843年11月25日-08:00|中国| ||唐・會昌3年11月|党項羌がヒン寧を寇した
- 844年-01:00|スペイン/フランス| |||<死去>カカロニヌ伯「トルクス」伯「バルドゥイフ」伯「オタン」伯「バルドゥイフ1世」ト「セプティマニー」
- 844年-01:00|スペイン| |||<就任>アラゴン伯「ガリンド・アスナル1世」アスナル・ガリンド1世の息子 (~867年)
- 844年-01:00|フランス| |||<就任>オタン伯「ケラン(クラン)」オウエルヌ伯、フランク王国公 (~853年死去)
- 844年-01:00|フランス| |||<就任>カカロニヌ伯「Argila」Beraの息子 (~845年)
- 844年-01:00|フランス| |||<就任>トルクス伯(ルエルグ家)「フレドロン」(~852年死去)、「キヨム・ト・セプティマニー」バルドゥイフ「バルド・セプティマニー」の子 (~849年)
- 844年-01:00|スペイン| |||<就任>バルドゥイフ「コンラン」伯「ルシオン」伯「スフレ1世」カカロニヌ伯「ロ」の子/ウグーナ伯、ハザール伯、ジローナ伯、カホニヌ伯、アグド伯、ベジエ伯、アウグー伯、マルグイ伯、カタルーニャ伯、ウルジェイ伯、及びニーム伯 (~848年死去)
- 844年-01:00|スペイン| |||<復位>アンプリアス伯「Sunyer1世」(~848年)
- 844年 00:00|イギリス| |||<死去>スコットランド王「Ginaedh mac Feradaigh」反乱側
- 844年 00:00|イギリス| |||<死去>ノーザンブリア王「Eanraed Eardwulfes sunu」
- 844年 00:00|イギリス| |||<即位>スコットランド王「Drest mac Feradaigh」反乱側 (~847年死去)
- 844年 00:00|イギリス| |||<即位>ノーザンブリア王「Aethelraed Eanraedes sunu (Aethelred2世)」(1期目 ~848年廃位)
- 844年 00:00|イギリス| |||ロドリ2世マルク大王(909年死去)がほとんどのウェールズ王国(グウィネット、サウスウェールズ、ダベット)を統一(⇒854年、ホイス⇒872年レディン)
- 844年1月11日-02:00|トルコ| |||<死去>元東ローマ帝国皇帝「イレウス1世」ウァクパティ
- 844年1月13日-09:00|日本| ||承和10年12月20日|弾正台・左右京職の巡察の折の下馬の法を定める
- 844年1月15日-09:00|日本| ||承和10年12月22日|文室宮田麻呂、謀叛
- 844年1月22日-09:00|日本|静岡県|承和10年12月29日|文室宮田麻呂、伊豆国に流罪
- 844年1月24日-08:00|中国| ||唐・會昌4年<即位>ホーチン王「尉遲南塔」(~858年)
- 844年1月25日-01:00|バチカン| |||<死去>第101代ローマ教皇「グレゴリウス4世」
- 844年1月25日-01:00|バチカン| |||<就任>第102代ローマ教皇「セルギウス2世」(~08470127死去)
- 844年1月27日-01:00|バチカン| |||<就任>対立ローマ教皇「ヨハネス8世」(~08440131)
- 844年2月-01:00|フランス| |||<死去>ボワティエ伯「Bernard2世」
- 844年2月22日-08:00|中国| ||唐・會昌3年11月|朔、日食があった
- 844年5月20日-09:00|日本|京都府京都市南区|承和11年4月30日|滋野貞主、居宅を西寺に施入/慈恩寺と号す
- 844年6月15日-01:00|イタリア| |||<即位>イタリア王「ロタール2世」ロタール1世の長男(父ロタール1世と共同統治~08550929、神聖ローマ皇帝・単独統治~08750812死去)
- 844年8月18日-08:00|中国| ||唐・會昌4年閏7月|この月、邠州刺史の王釗と磁州刺史の安玉が城をもって降った
- 844年9月11日-08:00|中国| ||唐・會昌4年閏7月25日|昭義軍の將の裴問が魏州刺史の崔加に城をもって降った
- 844年9月30日-08:00|中国| ||唐・會昌4年8月15日|昭義軍の將の郭誼が劉訢を殺して降った
- 844年11月22日-09:00|日本|大阪府大阪市|承和11年10月9日|鴻臚館を摂津国府とする
- 844年12月16日-09:00|日本| ||承和11年11月4日|王臣家人・百姓らが鴨川を汚す事を禁じる
- 845年-05:30|インド| |||<即位>チャンドラ朝国王「Vakpati」(~865年)
- 845年-05:30|インド| |||<即位>パラ朝国王「マヘンドラパラ」(~860年)
- 845年-03:30|イラン| |||<即位>ターヒル朝国王「ターヒル・イブン・アブドゥッラー(ターヒル2世)」アブドゥッラーの子 (~862年死去)
- 845年-01:00|クワアチア| |||<死去>クワアチア公「ミヌラ」
- 845年-01:00|フランス| |||<就任>カカロニヌ伯「Bera2世」(~850年)
- 845年-01:00|クワアチア| |||<就任>クワアチア公「トルミール1世」(~864年死去)
- 845年-01:00|デンマーク/フランス/ドイツ| |||ホリック率いるデン人がパリを却略しハンブルクを破壊
- 845年 00:00|イギリス| |||<死去>グウィネット王「メルグイン・ガリフ・アブ・ゲリアト」
- 845年 00:00|イギリス| |||<即位>グウィネット王「ロドリ・マウア・アブ・マフィン」(~878年死去)
- 845年8月7日-08:00|中国| ||唐・會昌5年7月|道教にかぶれた唐・武宗が廃仏令をだす(會昌の廃仏)寺院4600ヶ所余り、招提・蘭若4000ヶ所余りが廃止され、還俗させられた僧尼は260500人、没収寺田は数千万頃、寺の奴婢を民に編入した数が150000人
- 845年8月7日-08:00|中国| ||唐・會昌5年7月1日|朔、日食があった
- 845年11月22日-01:00|フランス| |||フランス北西部ブルターニュのブルトン人首長「ミナエ、シャルル2世(カール2世禿頭王)」の軍を破る
- 846年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプura王国王「Sena1世」Aggabodhi9世の弟 (~866年)

0850迄 (1117件)

- 846年-05:30|インド| |||<即位>パナガ朝君主「Nandivarman3世」(~869年)
846年-01:00|フランス| |||<就任>オーベルニュ伯「Bernard1世」(~858年)
846年-01:00|フランス| |||<就任>ナント伯「Amaury」(~849年)
846年-01:00|イタリヤ| |||<就任>フリウリ辺境伯「エベルハルト」(~863年)
846年-01:00|チュニジア/イタリヤ| |||アケラフ朝イスラム軍がイタリヤ半島に上陸開始
846年-01:00|イタリヤ| |||サラセン人(イスラム軍)がローマに侵攻
846年 00:00|アイルランド| |||<即位>アイルランド 上王「マール・セラン・マック・メイル・ルナイド」(~08621130没)
846年1月31日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・文聖王8年|張は清海鎮で反乱を起こし王は將軍の閻長を送り込んで張を暗殺させた
846年3月11日-09:00|日本| ||承和13年2月11日|<任命>鎮守府將軍「坂上当宗」(~不詳)
846年4月22日-08:00|中国| ||唐・會昌6年3月23日|<死去>唐第18代皇帝「武宗李昂」が大明宮で崩御(33)
846年4月22日-08:00|中国| ||唐・會昌6年3月23日|<即位>唐第19代皇帝「宣宗李忱」(~大中13年8月10日(859年9月10日)死去)
846年7月27日-08:00|中国| ||唐・會昌6年秋|<死去>回鶻可汗国亡命政権初代可汗「烏介可汗」回鶻相の美樞者逸隱暉が諸回鶻に迫って金山(アルタイ山脈)で殺した
846年7月27日-08:00|中国| ||唐・會昌6年秋|<即位>回鶻可汗国亡命政権第2代可汗「遏捻可汗」(~848年)
846年8月-01:00|チェコ/スロバキア/ハンガリー| |||<死去>大モウア公(モイミール朝)「モイミール1世」
846年8月-01:00|チェコ/スロバキア/ハンガリー| |||<即位>大モウア公(モイミール朝)「ロススラフ」モイミール1世の甥(~870年廃位された上に盲目にされる)東フン王国王ルトウ・ヒ2世に臣従する
846年9月-08:00|中国| ||唐・會昌6年8月|白樂天(白居易)が洛陽郊外の自宅で死去/74歳(誕生:07720228)。「長恨歌」などの名作を残した詩人
846年9月24日-08:00|中国| ||唐・會昌6年9月|雲南蛮が安南を寇し、経略使の裴元裕がこれを破った
846年12月22日-08:00|中国| ||唐・會昌6年12月1日|朔、日食があった
847年-05:45|ネパール| |||<即位>リッチャビ朝国王「Baladeva」
847年-05:30|インド| |||<即位>東チャールヤ朝君主「Vishnuvardhana5世」(~849年)
847年-03:00|イェメン| |||<即位>ユフィリス王「Yu'fir bin Abd ar-Rahman」(~872年)
847年-01:00|イタリヤ| |||<就任>トスカナ辺境伯「アタル・ルト1世」ルッカ伯ボニファチオ2世の子(~886年死去)
847年 00:00|イギリス| |||<死去>イーストアングリア王「Athelstan1世」
847年 00:00|イギリス| |||<死去>スコットランド王「Drest mac Feradaigh」反乱側
847年 00:00|イギリス| |||<即位>イーストアングリア王「Athelweard」(~854年死去)
847年1月1日-09:00|日本|奈良県奈良市|承和13年12月11日|西大寺講堂焼失
847年1月21日-09:00|日本| ||承和14年|皇太后橘嘉智子・橘氏公らが学館院を創立
847年1月21日-09:00|日本|京都府京都市東山区|承和14年|桓武天皇皇子葛井親王が清水寺三重塔を建立
847年1月21日-08:00|中国| ||唐・大中1年|唐、キルギスの可汗を英武誠明可汗に冊立
847年1月27日-01:00|パチン| |||<死去>第102代ローマ教皇「セルギウス2世」
847年2月6日-08:00|中国| ||唐・大中1年1月17日|唐の宣宗が大中(-860年10月)と改元
847年3月2日-09:00|日本| ||承和14年2月12日|<死去>時子内親王、平安時代の皇族、賀茂斎院(生年生年未詳)
847年4月10日-01:00|パチン| |||<就任>第103代ローマ教皇「レオ4世」(~08550717死去)
847年6月17日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・文聖王9年5月|良順と興宗が反乱
847年6月17日-08:00|中国| ||唐・大中1年5月|張仲武が奚の北部落と戦い、これを破った/吐蕃・回鶻が河西を寇し、河東節度使の王宰がこれを討伐
847年8月10日-03:00|イラク| |||<死去>バグダート・アッバース朝第9代カリフ「ワスイク」
847年8月10日-03:00|イラク| |||<即位>バグダート・アッバース朝第10代カリフ「ムタウィキル」(~08611210死去)
847年10月3日-09:00|日本|京都府京都市|承和14年8月21日|左京衛士町失火、民家30余戸焼く
847年12月7日-09:00|日本| ||承和14年10月26日|<死去>有智子内親王、平安時代の皇族、漢詩人(生年807年)
848年-02:00|エジプト| |||<就任>アッバース朝エジプト第69代アミール・ハーサマ・イブン・アルナダール・アルカバリー(~849)
848年-01:00|スペイン| |||<死去>ハルルビヤ伯・コンフラン伯・ルシオン伯「スフレ1世」
848年-01:00|スペイン| |||<就任>アンブリアス伯「William」(~850年)
848年-01:00|アントラ/スペイン| |||<就任>ウルジエイ伯・サルタニヤ伯「Solomon」(~870年死去)
848年-01:00|フランス| |||<就任>コンフラン伯「Oliba2世」(~860年)
848年-01:00|スペイン| |||<就任>ハルルビヤ伯・ルシオン伯「ギョーム」トゥールズ伯(~850. 2, 反乱を起こして殺害された);「アラン」ルサリョー伯、セプティマニア辺境伯(~852年)
848年 00:00|イギリス| |||<即位>グウェント王「Meurig ap Hywel」(~849年)
848年 00:00|イギリス| |||<即位>ノーザンブリア王「Raedwulf」(~同年死去)⇒「Athelraed Eanraedes sunu」(2期目~853年)
848年 00:00|イギリス| |||<廃位>ノーザンブリア王「Athelraed Eanraedes sunu(Athelred2世)」
848年2月9日-09:00|日本|山梨県甲府市|承和15年|慈覚大師が湯村温泉開湯
848年2月9日-08:00|中国| ||唐・大中2年|<退位>回鶻可汗国亡命政権第2代可汗「遏捻可汗」西へ逃亡し回鶻可汗国は完全に滅亡
848年2月9日-08:00|中国| ||唐・大中2年|吐蕃、河西に侵攻、沙陀・朱邪赤心、これを破る
848年3月18日-09:00|日本|千葉県|承和15年2月10日|上総国俘囚丸子廻毛、叛乱/上総・下総・相模諸国はこれを討つ

- 848年6月5日-08:00|中国| ||唐・大中2年5月1日|朔、日食があった
848年7月16日-09:00|日本| ||嘉祥1年6月13日|承和から嘉祥に改元
848年7月31日-09:00|日本|京都府京都市|嘉祥1年6月28日|右衛門府南町失火、民家数10戸焼く
848年9月5日-09:00|日本| ||嘉祥1年8月5日|<嘉祥元年畿内暴風雨>茨田堤が各所で決壊/そのほか淀川に架かる宇治橋と、その下流にある河陽橋が損壊し、淀川の水路だけでなく、京都と淀川河口の港を結ぶ陸路も寸断され、都は復旧するまで孤立状態となった/人畜(特に馬)の被害も甚大だった
848年10月19日-09:00|日本| ||嘉祥1年9月19日|長年大宝を鑄造
848年12月29日-09:00|日本/朝鮮/中国| ||嘉祥1年12月|渤海使王文矩ら能登国に到着
849年-05:30|インド| ||<即位>東チャルキヤ朝君主「ウ・イジヤデ・イティヤ3世」「Vikramaditya1世」「Yuddhamalla1世」(~892年)
849年-02:00|エジプト| ||<就任>アッハース朝エジプト第70代アミール:ハティム・イビン・ハサマ・イビン・アルナダ(~849)→<就任>エジプト第71代アミール:アリ・イビン・ヤヤ・アルマルマニ(~850解任)
849年-01:00|フランス| ||<就任>メヌ伯「ロコ」2世(~865年死去)
849年-01:00|ニジェール| ||<即位>ソガイ王国国王「サ・コイ」(~861年)
849年-01:00|ドイツ| ||<即位>テューリンゲン公「シャクル」再興(~08730801死去)
849年-01:00|フランス| ||<復位>ナント伯「Lambert2世」(~851年)
849年-01:00|イタリヤ| ||カンパニアの海洋諸都市がイスラム軍の侵出を阻止
849年 00:00|モロッコ| ||<死去>モロッコ国王(イドリス朝)「アリー・イブン・イドリス」
849年 00:00|イギリス| ||<即位>グウェント王「Meurig ap Arthfael Hen」(~874年)
849年 00:00|イギリス| ||<即位>ストラスカイト王「Artgal」(~872年死去)
849年 00:00|モロッコ| ||<即位>モロッコ国王(イドリス朝)「ヤフヤー・イブン・ムハンマド(ヤフヤー1世)」(~864年死去)
849年1月1日-09:00|日本|静岡県|嘉祥1年12月4日|和気齊之、仁明天皇に対する大不敬の罪で伊豆国に流罪
849年1月28日-09:00|日本|長野県長野市|嘉祥2年|学問なる僧が奥社の地で最初に修験を始め戸隠神社創建
849年3月12日-09:00|日本| ||嘉祥2年2月14日|<死去>大宅内親王、平城天皇の妃(生年生年未詳)
849年5月26日-08:00|中国| ||唐・大中3年5月|武寧軍が乱を起こし、その節度使の李廓を追放
849年9月20日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・文聖王11年9月|金式と大昕とが反乱を起こして誅殺された
849年10月20日-08:00|中国| ||唐・大中3年10月|この月、吐蕃が維州をもって官吏に帰順
850年-08:00|中国| ||<即位>天山ウイグル王国可汗「ウルク・テングリテ・クトゥ・ホルミシュ・アルフ・キリユク・ベルグ・懐建・カガン」(~866年)
850年-08:00|インドネシア| ||スマトラのシュリウ・イジヤガがシャイレントラを併合
850年-07:00|カンボジア| ||<死去>クメール王朝国王「ジヤウ・アルマン2世(フェイス・アルマン2世)」
850年-07:00|カンボジア| ||<即位>クメール王朝国王「ジヤウ・アルマン3世(フェイス・アルマン3世)」(~877年死去)
850年-05:30|インド| ||<建国>ジャンム国
850年-05:30|インド| ||<建国>ホンチ国
850年-05:30|インド| ||<即位>チョーラ朝国王「ウ・イジヤラナ」再興(~870年)
850年-05:00|ウズベキスタン| ||<即位>サマン朝(シャッシュ)アミール「Ahmad ibn Asad」(~864年死去)
850年-02:00|エジプト| ||<就任>アッハース朝エジプト第72代アミール:イスマーク・イビン・ヤヤ・イビン・ムアツド(~851)
850年-01:00|スペイン| ||<就任>カスティール伯「ロドリゴ」(~8731105死去)
850年-01:00|フランス| ||<就任>カルカヌス伯「Miro Eutil」⇒「Fredelo」トゥルス伯(~852年死去)
850年-01:00|ドイツ| ||<即位>ザクセン公「リウドルフ」(~08660312死去)
850年-01:00|セルビア| ||<即位>セルビア王「ムティミル」ウラスティミルの長男(~891年)
850年-01:00|ハンガリー| ||<即位>ハンガリー大公「アルメシュ」(~895年死去)
850年-01:00|フランス/ドイツ| ||<即位>フランク・ローマ皇帝「ルイス2世」ロートル1世の息子(ロートル1世と共同統治~08550929単独統治→08720518戴冠~08750812死去)
850年-01:00|チャド| ||チャド湖の北東部にガム王国形成
850年-01:00|デンマーク/イギリス| ||デン人がイングランドに定住開始
850年2月-01:00|スペイン| ||<死去>バルセロナ伯「セプティミアニア」辺境伯キヨム反乱を起こして殺害された
850年2月-01:00|スペイン| ||<就任>バルセロナ伯「イェンバル」アンブリアス伯、ルサヨ伯およびセプティミアニア辺境伯(~852年);バルセロナ伯・ルソン伯「アレラン」(~852年)
850年2月1日-01:00|スペイン| ||<死去>レオン国王(ペレス家)・アストゥリアス王「ラミロ1世」
850年2月1日-01:00|スペイン| ||<即位>レオン国王(ペレス家)・アストゥリアス王「オドネヨ1世」(~08660527死去)
850年2月16日-09:00|日本|岩手県西磐井郡平泉町|嘉祥3年|慈覚大師円仁、中尊寺創建<天台宗東北大本山>
850年5月4日-09:00|日本| ||嘉祥3年3月19日|<譲位>54代仁明天皇
850年5月4日-09:00|日本| ||嘉祥3年3月21日|<踐祚>道康親王(皇太子)4月17日、55代文徳天皇として即位
850年5月6日-09:00|日本| ||嘉祥3年3月21日|<死去>第54代仁明天皇(41、誕生:弘仁1(810))
850年5月16日-09:00|日本| ||嘉祥3年4月2日|<死去>桓武天皇皇子葛井親王(51/母:坂上春子)
850年6月17日-09:00|日本| ||嘉祥3年5月4日|<死去>嵯峨天皇太皇太后橘嘉智子(65/父:橘清友、仁明天皇・淳和天皇皇后正子内親王生母、号:檀林皇后)
850年7月7日-03:00|イラク| ||<死去>タバール朝(ハグダート政権)国王「Ishaq ibn Ibrahim al-Mus'abi」病死
850年7月7日-03:00|イラク| ||<即位>タバール朝(ハグダート政権)国王「Muhammad ibn Ishaq ibn Ibrahim」(~851.6死去)
850年9月10日-08:00|中国| ||唐・大中4年8月|幽州盧龍軍が乱を起こし、その節度使の張直方を追放し、衙將の

0850迄(1117件)

張允伸が留後を自称

850年11月23日-09:00|日本| ||嘉祥3年10月16日|出羽地震、M7/圧死者多数/被害範囲は遠く羽黒山下、狩川下から西北方砂越村下方今の浜畑村辺までに及びその間すべて泥海と変じた/国府倒壊. 城柵傾き崩れる

850年12月8日-08:00|中国| ||唐・大中4年8月|党項羌がヒソ州・寧州を寇した